



下水道モニター 平成25年度第2回アンケート結果

東京都下水道局では、様々な事業を行なっています。

第2回アンケートでは、東京都下水道局が発行する「経営計画2013」に対するお客さまの理解度、各事業活動の重要度や期待度等のほか、局やご家庭の浸水対策、局のホームページへの意見や感想などについてうかがいました。

この報告書は、その結果をまとめたものです。

- ◆実施期間 平成25年7月8日（月）～7月22日（月）15日間
- ◆対象者 東京都下水道局「平成25年度下水道モニター」
※東京都在住20歳以上の男女個人
- ◆回答者数 411名
- ◆調査方法 ウェブ形式による自記式アンケート

【目次】

I 結果の概要

II 回答者属性

III 集計結果

1. 『東京都下水道事業 経営計画2013』について
2. 家庭での浸水への対策
3. 東京都下水道局のホームページ

I 結果の概要

1. 『東京都下水道事業 経営計画2013』について7~32頁

■ 【東京都下水道事業についての理解度】

- (全体) 東京都下水道事業についての理解度で、理解できた(よく理解できた+まあ理解できた)と回答したものでは、「5.震災対策」が87%と最も高く、次いで「1.経営方針」が86%、「4.浸水対策」が85%となっており、「11. 単独処理区の編入」が64%と最も低い結果となっている。
- (性別) 理解できた(よく理解できた+まあ理解できた)と回答したもので、男性は「1.経営方針」が87%と最も高く、女性は「5.震災対策」が88%と最も高い結果となっている。
- (年代別) 50歳代と70歳以上を除いた年代では「5.震災対策」が最も高く、それぞれ20歳代が83%、30歳代が89%、40歳代が88%、60歳代が91%となっており、50歳代では「1.経営方針」が86%と最も高く、70歳以上では「4.浸水対策」が82%と最も高い結果であった。
- (地域別) 23区は「5.震災対策」が86%と最も高く、多摩地区は「1.経営方針」が88%と最も高くなっている。

■ 【東京都下水道事業の評価】

- (全体) 東京都下水道事業の評価で、重要である(非常に重要である+やや重要である)と評価したものでは、「3.震災対策」が95%と最も高く、次いで「2.浸水対策」が93%、「4. 汚泥処理の信頼性の向上と効率化」が87%となっており、「12. 東京下水道の「応援団」を獲得」が54%と最も低い結果となっている。
- (性別) 男性は「2.浸水対策」と「3.震災対策」が同じく93%と最も高く、女性は「3.震災対策」が97%と最も高くなっている。
- (年代別) 50歳代と70歳以上を除いた年代では「3.震災対策」が最も高く、それぞれ20歳代が97%、30歳代が96%、40歳代が91%、60歳代が96%となっており、50歳代と70歳以上では「2.浸水対策」が最も高く、それぞれ100%、97%となっている。
- (地域別) 23区と多摩地区は同じく「3.震災対策」がそれぞれ95%、94%と最も高くなっており、次いで「2.浸水対策」がそれぞれ94%、92%となっている。

■ 【東京都下水道事業への期待度】

- (全体) 東京都下水道事業への期待度については、期待できる(とても期待できる+まあ期待できる)と回答したものでは、「2.浸水対策」が85%と最も高く、次いで「3.震災対策」が81%、「14. 技術開発の推進」が78%となっており、「12. 東京下水道の「応援団」を獲得」が47%と最も低くなっている。
- (性別) 期待できる(とても期待できる+まあ期待できる)と回答したもので、男女共に「2.浸水対策」が最も高く、それぞれ83%、88%となっており、次いで男性は「14.技術開発の推進」が80%、女性は「3.震災対策」が83%となっている。
- (年代別) 70歳以上を除いた年代では「2.浸水対策」が最も高く、それぞれ20歳代が87%、30歳代が88%、40歳代が79%、50歳代が86%、60歳代が93%となっており、70歳以上は「14.技術開発の推進」が85%と最も高い結果となっている。
- (地域別) 23区と多摩地区は同じく「2.浸水対策」がそれぞれ88%、84%と最も高く、次いで「3.震災対策」がそれぞれ85%、78%となっている。

■ 【東京都下水道事業に期待する施策】

- （全 体）東京都下水道事業に期待する施策については、「3.震災対策」が32%と最も高く、次いで「2.浸水対策」が15%、「1.再構築」が10%である。
- （性 別）男女ともに「3.震災対策」が最も高く、男性28%、女性35%、次いで「2.浸水対策」男性13%、女性17%、「1.再構築」男性11%、女性10%となっている。
- （年代別）どの年代も全体と同じく、「3.震災対策」が最も高く、それぞれ20歳代37%、30歳代41%、40歳代30%、50歳代26%、60歳代28%、70歳以上21%であり、50歳代の「2.浸水対策」も同じく26%となっている。
- （地域別）23区、多摩地区ともに「3.震災対策」が最も高く、23区30%、多摩地区33%、次いで「2.浸水対策」23区、多摩地区ともに15%、「1.再構築」23区13%、多摩地区8%である。

■ 【東京都下水道事業に期待する施策の理由】

- （全 体）「下水道事業」に期待する施策として、【1.再構築】、【2.浸水対策】、【3.震災対策】が上位に挙がった。これらを期待する理由として、【1.再構築】については「4.老朽化対応が優先と考える為」が55%を占めている。また、【2.浸水対策】については「ゲリラ豪雨への対策が重要」が56%、【3.震災対策】については「将来を見据えて」が42%を占めている。

■ 【東京都下水道事業についての感想又は意見】

- （全 体）「見にくい・わかり辛い（簡略化を希望）」が27%と最も高く、次いで「実現化・効率化を期待」が19%、「見やすい・わかり易い」が17%となっている。

2. 家庭での浸水への対策33～45頁

■ 【「浸水対策強化月間」の認知度】

- （全 体）浸水対策強化月間の認知度については、「内容や意味を知っている」が4%、「少しは内容や意味を知っている」が18%、「言葉を聞いたことがある程度」が34%となっており、全体で56%となっている。
- （性 別）「内容や意味を知っている」「少しは内容や意味を知っている」「言葉を聞いたことがある程度」の合計は、男性が61%、女性が51%であり、男性の方が10ポイント高かった。
- （年代別）30歳代と50歳代を除いた年代では年齢が高くなるほど認知度が高まる傾向が顕著であり、最も多い70歳以上の68%に対して、30歳代は40%と28ポイント低かった。
- （地域別）23区が57%、多摩地区が55%で、23区の方が2ポイント高かった。

■ 【「浸水対策強化月間」の認知経路】

- （全 体）「浸水対策強化月間」の認知経路については、「2.東京都下水道局のホームページ」が52%と最も高く、次いで「1.東京都や東京都下水道局の広報誌」が40%、「3.ポスター」と「4.チラシやパンフレットなど」が同じく10%となっている。
- （性 別）「1.東京都や東京都下水道局の広報誌」は男性が41%、女性が38%と男性の方が3ポイント高く、「2.東京都下水道局のホームページ」は男性が50%、女性が54%と女性の方が4ポイント高かった。

(年代別) 「1.東京都や東京都下水道局の広報誌」は20歳代が24%、30歳代が27%、40歳代が35%、50歳代が44%、60歳代が54%、70歳以上が52%となっており、「2.東京都下水道局のホームページ」は20歳代が71%、30歳代が63%、40歳代が50%、50歳代が52%、60歳代が38%、70歳以上が52%となっている。

(地域別) 「1.東京都や東京都下水道局の広報誌」は23区が36%、多摩地区が43%と多摩地区の方が7ポイント高く、「2.東京都下水道局のホームページ」は23区が56%、多摩地区が48%と23区の方が6ポイント高かった。

■ 【ご家庭での浸水対策について】

(全体) 「3.自宅の雨ドイや排水口を掃除している」が27%と最も高く、次いで「2.ハザードマップなどで避難場所の確認をしている」が24%、「4.「雨水ます」にゴミを入れない、上に物を置かないよう心がけている」が19%となっているに対して、「6.「浸水への備え」を特におこなっていない」が51%と半数以上の回答者が設問に挙げた対策を行っていないことが分かった。

(性別) 「2.ハザードマップなどで避難場所の確認をしている」は男性が21%、女性が26%と女性の方が5ポイント高く、「4.「雨水ます」にゴミを入れない、上に物を置かないよう心がけている」は男性が21%、女性が17%と男性の方が4ポイント高くなっている。

(年代別) 全体で最も高い「3.自宅の雨ドイや排水口を掃除している」については、30歳代と50歳代を除いて、年齢が高くなるほど実施割合も高くなる傾向がみえ、最も高い70歳以上は35%、最も低いのは30歳代で20%である。

(地域別) 行っている浸水対策は0~2ポイントの差にとどまっており、「6.「浸水への備え」を特におこなっていない」については、23区が48%、多摩地区が54%と多摩地区の方が6ポイント高くなっている。

■ 【ご家庭での浸水対策の安全性】

(全体) 全体では安全だと思う(安全だと思う+たぶん安全だと思う)が72%となっている。

(性別) 安全だと思う(安全だと思う+たぶん安全だと思う)は、男性が78%、女性が66%と、男性の方が12ポイント高くなっている。

(年代別) 50歳代と70歳以上を除いて、年齢が高くなるほど安全だと思う(安全だと思う+たぶん安全だと思う)が高くなる傾向にあり、20歳代が50%に対して、60歳代が80%であった。

(地域別) 安全だと思う(安全だと思う+たぶん安全だと思う)は、23区が68%、多摩地区が75%と多摩地区の方が7ポイント高くなっている。

■ 【ご家庭での浸水対策の安全性に対する理由】

(全体) 「安全だと思う」「たぶん安全だと思う」と回答した理由については、「高台に居住」が50%と最も高く、次いで「高層階に居住」が39%であった。

「あまり安全ではないと思う」「安全ではないと思う」と回答した理由については、「川が近い」が48%と最も高かった。

3. 東京都下水道局のホームページ46～53頁

■ 【東京都下水道局のホームページを見る頻度】

- （全体）「1.よく見る」が3%、「2.たまに見る」が45%、「3.ほとんど見ない」が50%であった。
- （性別）「1.よく見る」は、男性が5%、女性が2%と男性の方が3ポイント高く、「2.たまに見る」を加えると男性が47%、女性が49%と女性の方が2ポイント高くなった。
- （年代別）「1.よく見る」について最も高いのは、70歳以上が9%、次いで20歳代が7%、40歳代が4%となっており、「2.たまに見る」を加えると、40歳代が55%と最も高い結果となっている。
- （地域別）「1.よく見る」は、23区が6%、多摩地区が1%、「2.たまに見る」を加えると、23区が52%、多摩地区が44%である。

■ 【東京都下水道局のホームページで見る記事】

- （全体）「1.下水道と暮らし」と「4.見学案内」が同じく43%と最も高く、次いで「10.東京都下水道局からのお知らせ」が40%、「9.新着情報・お知らせ」が35%となっている。
- （性別）「1.下水道と暮らし」は、男性が45%、女性が40%と男性の方が5ポイント高く、「10.東京都下水道局からのお知らせ」は、男性が52%、女性が29%と男性の方が23ポイント高くなっているに対し、「2.Q&A」は、男性が17%、女性が20%と女性の方が3ポイント高く、「3.キッズコーナー」は、男性が12%、女性が26%と女性の方が14ポイント高く、「9.新着情報・お知らせ」は、男性が29%、女性が40%と女性の方が21ポイント高くなっている。
- （年代別）最もよく見る記事としては、20歳代は「11.東京アメッシュ」で54%、30歳代は「1.下水道と暮らし」で44%、40歳代は「9.新着情報・お知らせ」で48%、50歳代と60歳代は「10.東京都下水道局からのお知らせ」がそれぞれ61%、67%、70歳以上は「1.下水道と暮らし」と「10.東京都下水道局からのお知らせ」が同じく64%となっている。70歳以上は、「4.見学案内」、「5.事業案内」についてもニーズが高い。
- （地域別）「9.新着情報・お知らせ」は、23区が38%、多摩地区が32%、「11.東京アメッシュ」は、23区が33%、多摩地区が21%と、23区の方がそれぞれ6ポイント、12ポイント高いのに対して、「2.Q&A」は、23区が16%、多摩地区が21%、「4.見学案内」は、23区が39%、多摩地区が47%と多摩地区の方がそれぞれ5ポイント、8ポイント高くなっている。

■ 【東京都下水道局のホームページへの改善案】

- （全体）「東京都下水道局ホームページ」については、「特にない・現状に満足」が47%と半数近くになっており、改善して欲しいところでは、「ページをシンプルに解りやすく」が17%、と最も高く、次いで「情報提供・広報活動の充実」が11%、「アメッシュの充実・改善」が9%という結果になった。

Ⅱ 回答者属性

- 平成 25 年度下水道モニター数は、アンケート実施時で 名である。
- 第 2 回アンケートは、平成 25 年 7 月 8 日（月）から 7 月 22 日（月）までの 15 日間で実施した。その結果、411 名の方から回答があった。（回答率 60.4%）

■ 回答者 性別・年代

性別・年代		回答者数	モニター数	回答率
男性	20歳代	12	30	40.0%
	30歳代	29	63	46.0%
	40歳代	49	84	58.3%
	50歳代	26	37	70.3%
	60歳代	57	77	74.0%
	70歳以上	28	32	87.5%
	小計	201	323	62.2%
女性	20歳代	18	40	45.0%
	30歳代	73	127	57.5%
	40歳代	70	114	61.4%
	50歳代	24	40	60.0%
	60歳代	19	26	73.1%
	70歳以上	6	10	60.0%
	小計	210	357	58.8%
合計		411	680	60.4%

■ 回答者 居住地

居住地	回答者数	モニター数	回答率
23区	192	315	61.0%
多摩地区	219	365	60.0%
合計	411	680	60.4%

■ 回答者 職業

職 業	回答者数	モニター数	回答率
会社員	136	242	56.2%
自営業	22	37	59.5%
学生	8	15	53.3%
私立学校教員・塾講師	5	10	50.0%
パート	41	69	59.4%
アルバイト	10	23	43.5%
専業主婦	99	160	61.9%
無職	72	88	81.8%
その他	18	36	50.0%
合計	411	680	60.4%

Ⅲ 集計結果

※ 文中の「n」は質問に対する回答者数で、比率（％）はすべて「n」を基数（100％）として算出している。
また、小数点以下を四捨五入してあるので、内訳の合計が100％にならないこともある。

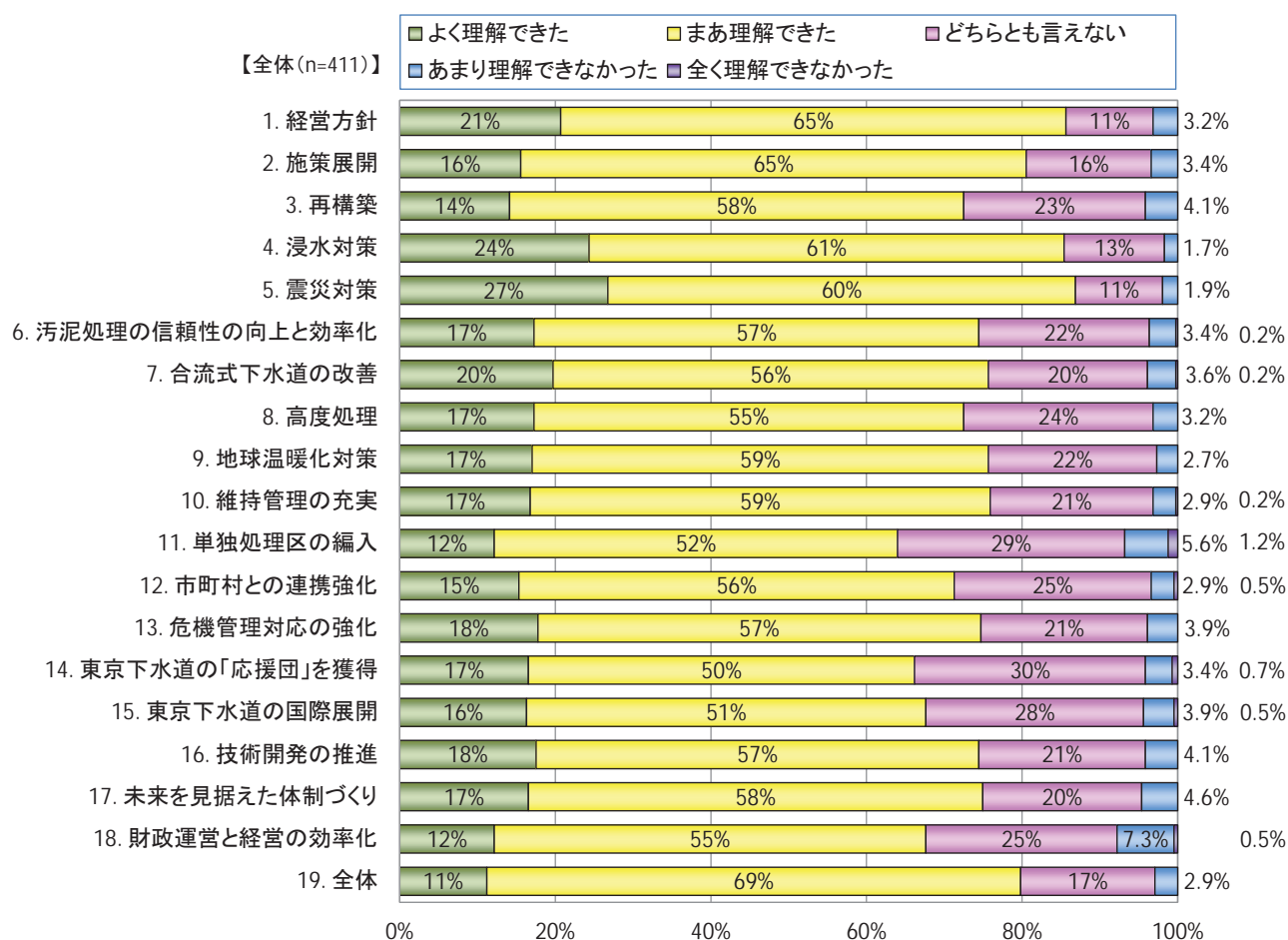
1. 『東京都下水道事業 経営計画2013』について

1-1. 東京都下水道事業についての理解度〔全体〕

- ◆ 「下水道事業」の理解度について、理解できた（よく理解できた+まあ理解できた）と回答したものでは、「5.震災対策」が87％と最も高く、次いで「1.経営方針」が86％、「4.浸水対策」が85％となっており、「11. 単独処理区の編入」が64％と最も低い結果となっている。

Q5 『東京都下水道事業 経営計画2013』の「経営方針及び施策展開」、「主要施策」及び「下水道サービスの向上と経営基盤の強化」をお読みになり、以下に示す東京都下水道局の各施策及び全体について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。（単一回答）

図1-1 「下水道事業」の理解度〔全体〕

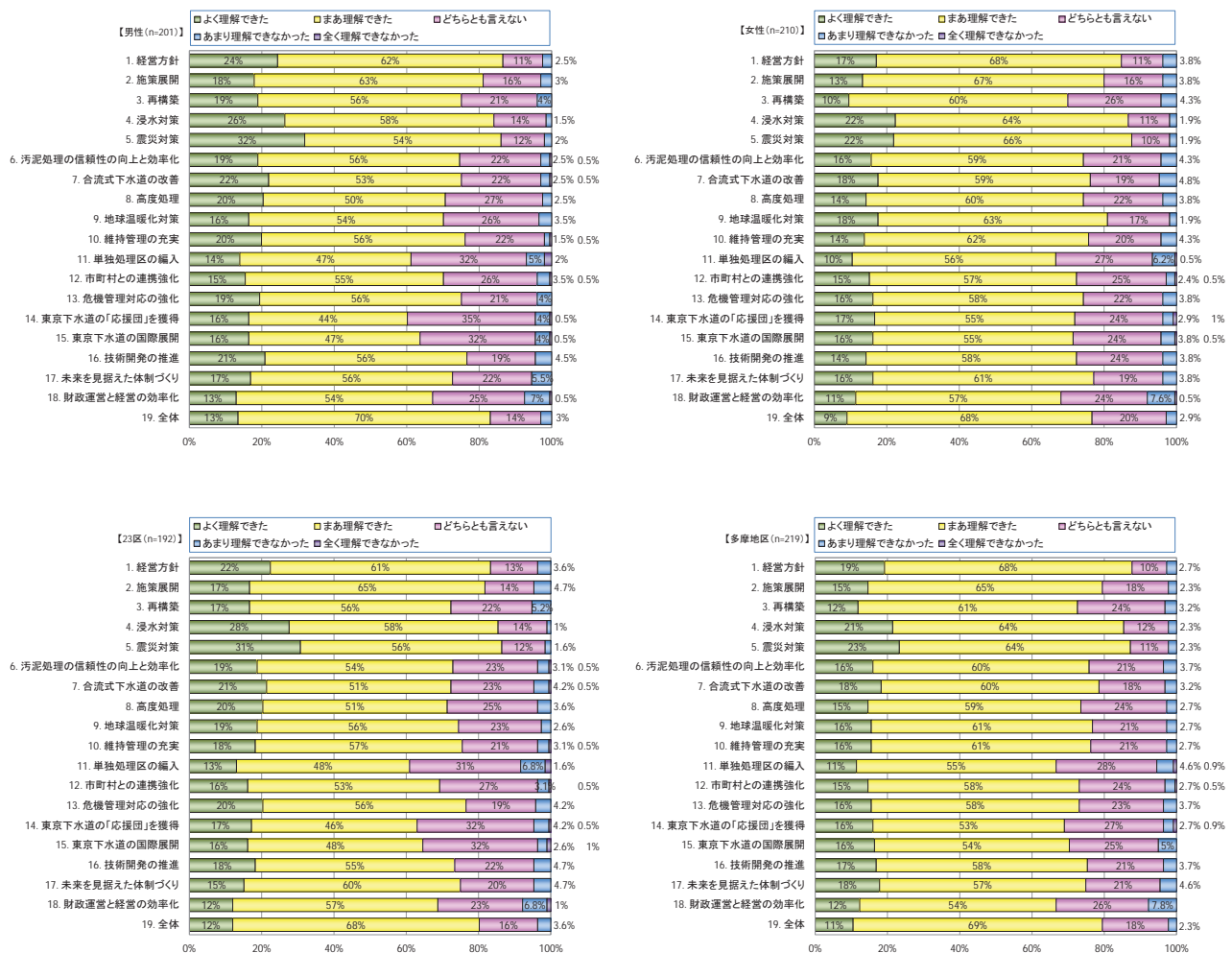


1-2. 東京都下水道事業についての理解度〔性別・地域別〕

- ◆ 「下水道事業」の理解度について性別でみると、理解できた（よく理解できた+まあ理解できた）と回答したもので、男性は「1.経営方針」が87%と最も高く、女性は「5.震災対策」が88%と最も高い結果となっている。
- ◆ 地域別でみると、23区は「5.震災対策」が86%と最も高く、多摩地区は「1.経営方針」が88%と最も高くなっている。

Q5 『東京都下水道事業 経営計画2013』の「経営方針及び施策展開」、「主要施策」及び「下水道サービスの向上と経営基盤の強化」をお読みにになり、以下に示す東京都下水道局の各施策及び全体について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。（単一回答）

図1-2 「下水道事業」の理解度〔性別・地域別〕

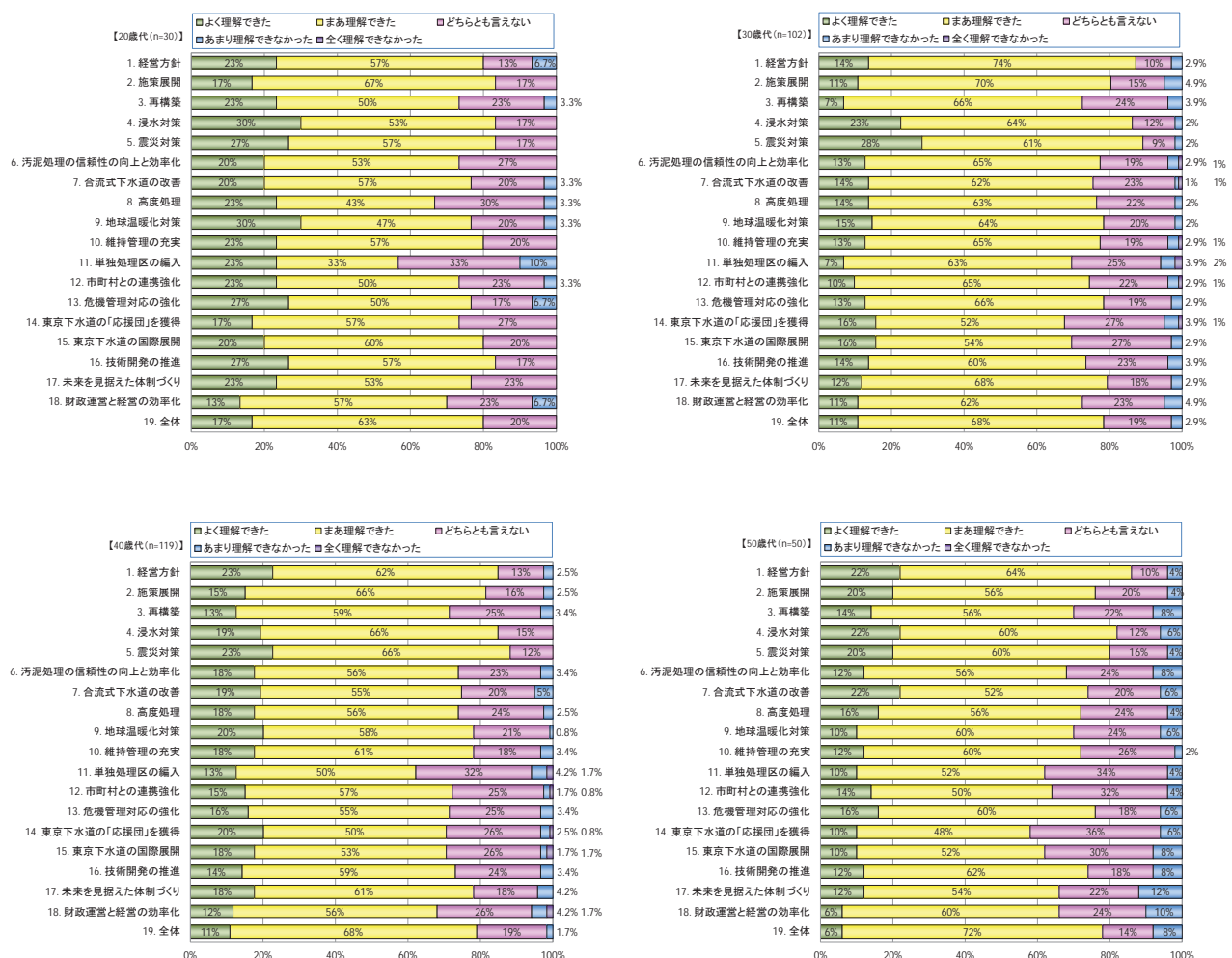


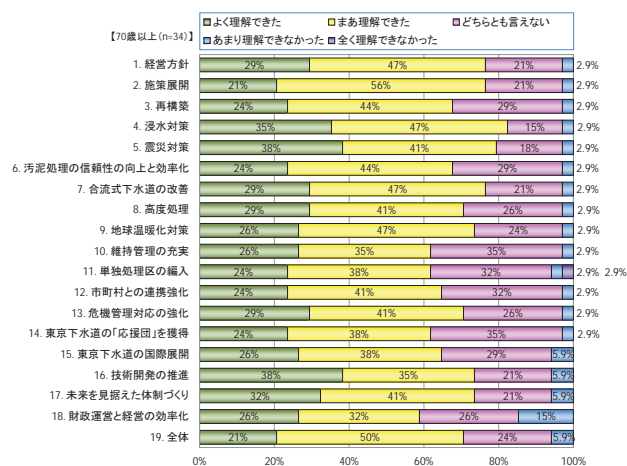
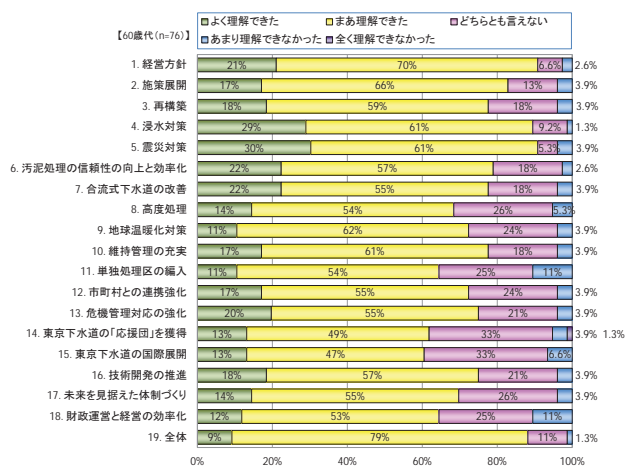
1-3. 東京都下水道事業についての理解度〔年代別〕

- ◆ 「下水道事業」の理解度について年代別でみると、理解できた（よく理解できた+まあ理解できた）と回答したもので、50 歳代と 70 歳以上を除いた年代では「5.震災対策」が最も高く、それぞれ 20 歳代が 83%、30 歳代が 89%、40 歳代が 88%、60 歳代が 91%となっており、50 歳代では「1.経営方針」が 86%と最も高く、70 歳以上では「4.浸水対策」が 82%と最も高い結果であった。
- ◆ 20 歳代では「2.施策展開」、「4.浸水対策」、「16.技術開発の推進」が、60 歳代では「1.経営方針」が「5.震災対策」と同じく最も高い結果となっている。

Q5 『東京都下水道事業 経営計画2013』の「経営方針及び施策展開」、「主要施策」及び「下水道サービスの向上と経営基盤の強化」をお読みにになり、以下に示す東京都下水道局の各施策及び全体について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの理解度をお答えください。（単一回答）

図1-3 「下水道事業」の理解度〔年代別〕





1－4. 東京都下水道事業について理解できない理由

◆ 「下水道事業」について理解できない理由を多数お寄せいただいたので、一部紹介する。

Q6. 上記Q5の中で、「あまり理解できなかった」「全く理解できなかった」と思われるのはなぜですか？その理由についてご自由にお答え下さい（自由回答）。

「下水道事業」について理解できない理由例

1. 経営方針

- 内容が難解である。（50 歳代女性、23 区）
- わかる人には分かると思いますが、私には少し全体的になじめない内容かもしれません。（30 歳代女性、23 区）
- 資料が 1 度に沢山、送られてきて、うんざりし理解出来なかった。もう少し、小出しに分割情報の提供が望ましいと考えます。勿論、総べての文章を読みこなされる方も多いとは思いますが、残念です。（70 歳以上男性、多摩地区）

2. 施策展開

- 総論ばかりで、具体的でない。（30 歳代男性、23 区）
- 伝えたいことが書かれていると思うのだが、文章が長すぎて読んでいて疲れる。表等を入れてわかりやすくもしてあるのだろうが・・・また簡潔にまとめてあるのだと思うのだが・・・。（30 歳代女性、23 区）
- 良くわからない。（60 歳代男性、多摩地区）

3. 再構築

- 普段聞きなれない言葉、堅苦しい言葉の羅列では理解するのがむずかしいと感じた。（60 歳代女性、多摩地区）
- 簡潔でなく読みづらい。読み手の側に立って作られていない気がする。（50 歳代男性、23 区）
- 今後の人口減少に見合った方策とは思えない。（50 歳代男性、23 区）

4. 浸水対策

- 解るような気がするが、難しい。（30 歳代女性、多摩地区）
- 具体的な例が少なかった。（50 歳代女性、多摩地区）
- むずかしい。（60 歳代男性、多摩地区）

5. 震災対策

- 本当にそうなのか疑問に思う。（30 歳代女性、多摩地区）
- 建前ではどうにか理解できるが、下水道収入が減る中、実現性が危うい。（60 歳代女性、多摩地区）
- 仮設トイレ用のマンホールは、都内全体を見ても極めて少ない。現在、各町会・自治会には仮設トイレが保管されつつあるが、危機的な状況になった場合、直接流入できる箇所が少ないのではないかと思います。町会・自治会の機能を利用することは、大きな力になると確信しています。（60 歳代男性、23 区）

6. 汚泥処理の信頼性の向上と効率化

- もう少し簡易な言葉での説明がありがたいです。(40 歳代女性、23 区)
- 効率化のポイントがわかりづらかった。(40 歳代男性、多摩地区)
- 微量ではあるが放射能が検出されていると思う。それに対する対策が説明不足。(40 歳代男性、23 区)

7. 合流式下水道の改善

- どのような施設がどのように機能してどのような効果があるのかの一連の流れが、今ひとつわかりにくかったから。(40 歳代男性、23 区)
- 放流される汚濁負荷量を分流式下水道と同程度までに削減するという所がどの程度なのか、目安が欲しい。(40 歳代女性、多摩地区)
- 説明文が長すぎるので理解するのに時間を要する。(60 歳代女性、多摩地区)

8. 高度処理

- これらの処理により、なんとなく効果が上がるのだろうとは思ったが、従来より何が高度で何が有効なのかが、今ひとつわかりにくかったから。(40 歳代男性、23 区)
- 身近でないのでよくわからない。(60 歳代女性、23 区)
- 必要性の全体が見えない。(60 歳代男性、多摩地区)

9. 地球温暖化対策

- これからもっと厳しい温暖化になるのではないかなと思うが、そのことに対して、もっと危機感をもった対策をすべきと思います。(60 歳代男性、多摩地区)
- アースプラン 2010 と温室効果ガスと地球温暖化対策の関係があまり理解できなかった。(50 歳代女性、多摩地区)
- 下水道事業と温暖化対策にどのような関連があるのか、今ひとつ伝わってこない。(50 歳代男性、23 区)

10. 維持管理の充実

- 真に充実しているかが分かりにくいです。(40 歳代女性、23 区)
- 老朽化対策が甘い。(40 歳代女性、多摩地区)
- 維持管理の施策が明確でない。家庭に寄り過ぎ。問題は一部の飲食店だと考えます。(30 歳代男性、23 区)

11. 単独処理区の編入

- 皆が理解できているのか？(30 歳代女性、多摩地区)
- そもそも聞かない言葉で意味が分からない。(30 歳代男性、23 区)
- 八王子市、立川市、三鷹市という大きな市が、なぜ単独で運営していたのか、詳しく記載がなかったため。(40 歳代女性、多摩地区)

12. 市町村との連携強化

- 市町村は東京都水道局の管轄ではないのでしょうか？(30 歳代女性、多摩地区)
- 提携の段階であり、本当に具体的な効果が見えている訳ではないので、どの時点でどのような判断がされるのかが分からなかった。(40 歳代男性、23 区)
- 単独処理区と同様に取り組まれている事は分かりますが我々一般人に細かく説明されてもそのメリットが理解できません。(30 歳代男性、23 区)

13. 危機管理対応の強化

- 危機を感じている人は少なそう。(30 歳代女性、多摩地区)
- 震災などで下水管は破裂ないのでしょうか？(30 歳代女性、多摩地区)
- 現在、危機管理体制が整っていないために、強化したいのか？体制はあるものの、機能していないのか？どの立場にたつての計画なのかがわからないため理解がしがたい。(40 歳代男性、23 区)

14. 東京下水道の「応援団」を獲得

- 「応援団」というもの自体がわかりにくい。(60 歳代男性、多摩地区)
- 国全体の理解が必要。(30 歳代女性、多摩地区)
- 「虹の下水道館」のリニューアルは不要ではないでしょうか？教育委員会などと連携して、小学校の社会の時間に授業で取り上げて貰うなどすれば済む話ではないでしょうか？(30 歳代女性、多摩地区)

15. 東京下水道の国際展開

- 東京都が国際展開するメリットがよく理解できなかった。国際展開することで、収益を上げ維持管理費を低減させることが目的なのか、産業振興が目的なのか理解できなかった。目的があいまい。(30 歳代男性、多摩地区)
- 下水道に国際化が必要か理解できなかった。(50 歳代女性、多摩地区)
- 国際展開の必要性が伝わらない。(50 歳代女性、多摩地区)

16. 技術開発の推進

- 単に、私は理科系のことがわかりにくかったから。(40 歳代男性、23 区)
- 技術開発に取り組むことは良いですが、実際に導入できる技術なのか？効果はどれぐらいなのか？これまでの取り組みでの成果は？実用性が見込みがないとお金をかけて取り組むことに期待できないと思います。民間事業者から技術を習得しているのであれば、監理団体など不要ではないでしょうか？(30 歳代女性、多摩地区)
- 説明事項の文字面の意味は理解できますが、実際に具体化された局面での技術的な仕組みが良くわかりません。(70 歳以上男性、多摩地区)

17. 未来を見据えた体制づくり

- 下水道事業を支える人材の育成についてが、具体性を欠いており今ひとつわかりにくかったから。(40 歳代男性、23 区)
- 具体的な体制内容が理解しづらかった。(40 歳代男性、多摩地区)
- 事業運営体制がわかりにくい。108 ページ下のイメージ図がみにくい(50 歳代女性、多摩地区)

18. 財政運営と経営の効率化

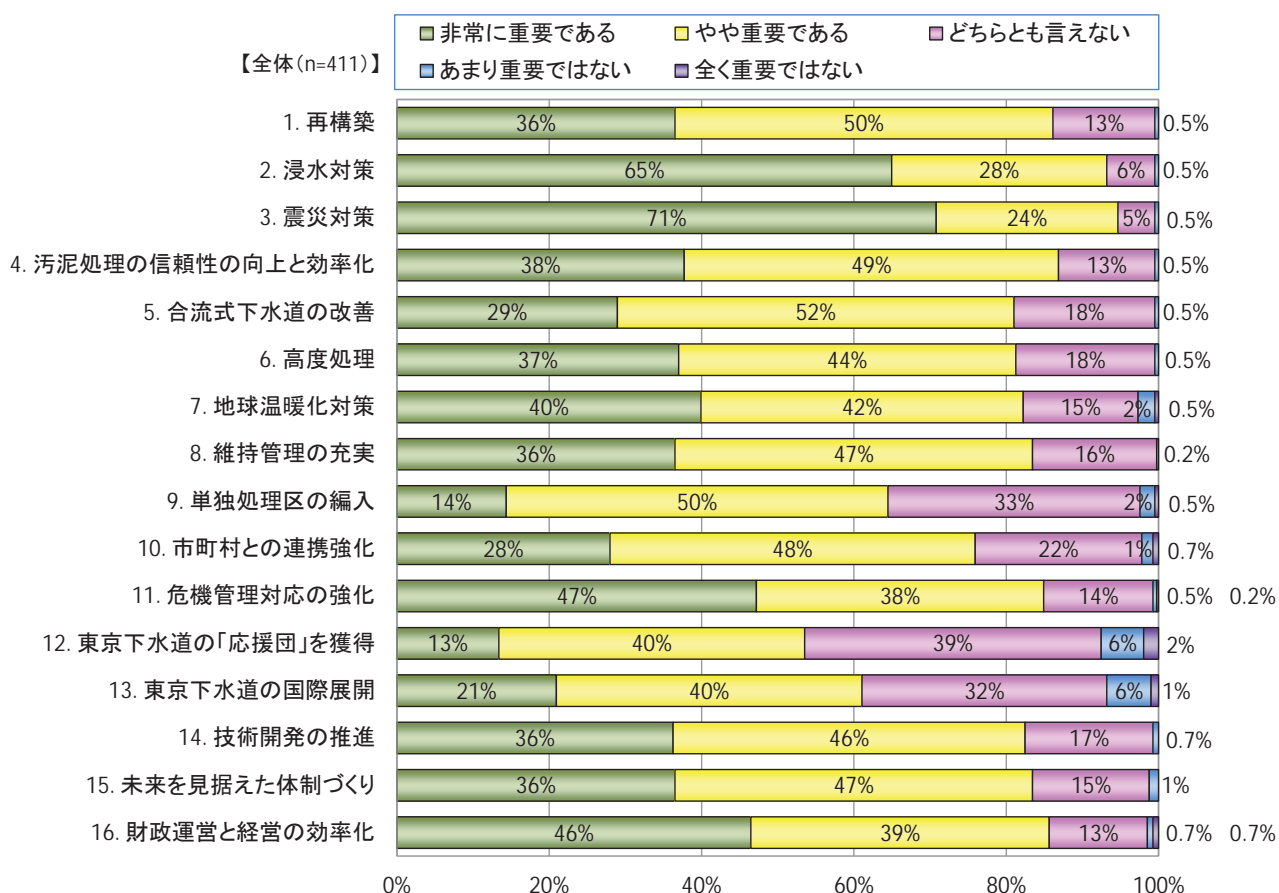
- やりたいことは分かったが、収入増の道筋や経費削減の具体策が分からなかった。(60 歳代男性、23 区)
- 理解できない、という訳ではありませんが、飽くまで今後の収益を予測しての展開となるので鵜呑みにしてはいけないという警戒心から選択しました。(40 歳代女性、23 区)
- 収入、支出の各項目の説明があまりなされていない。下水道の新設はほぼ終わっていると思われるが、なお巨額な建設費が使われている。建設最盛期の過去の実績との比較がある方が解りやすい。(70 歳以上男性、多摩地区)

1－5. 東京都下水道事業の評価〔全体〕

- ◆ 「下水道事業」の評価について、重要である（非常に重要である+やや重要である）と評価したものは、「3.震災対策」が95%と最も高く、次いで「2.浸水対策」が93%、「4. 汚泥処理の信頼性の向上と効率化」が87%となっており、「12. 東京下水道の「応援団」を獲得」が54%と最も低い結果となっている。

Q7 『東京都下水道事業 経営計画2013』をお読みにになり、以下に示す東京都下水道局の各施策について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。（単一回答）

図1－5 「下水道事業」の評価〔全体〕

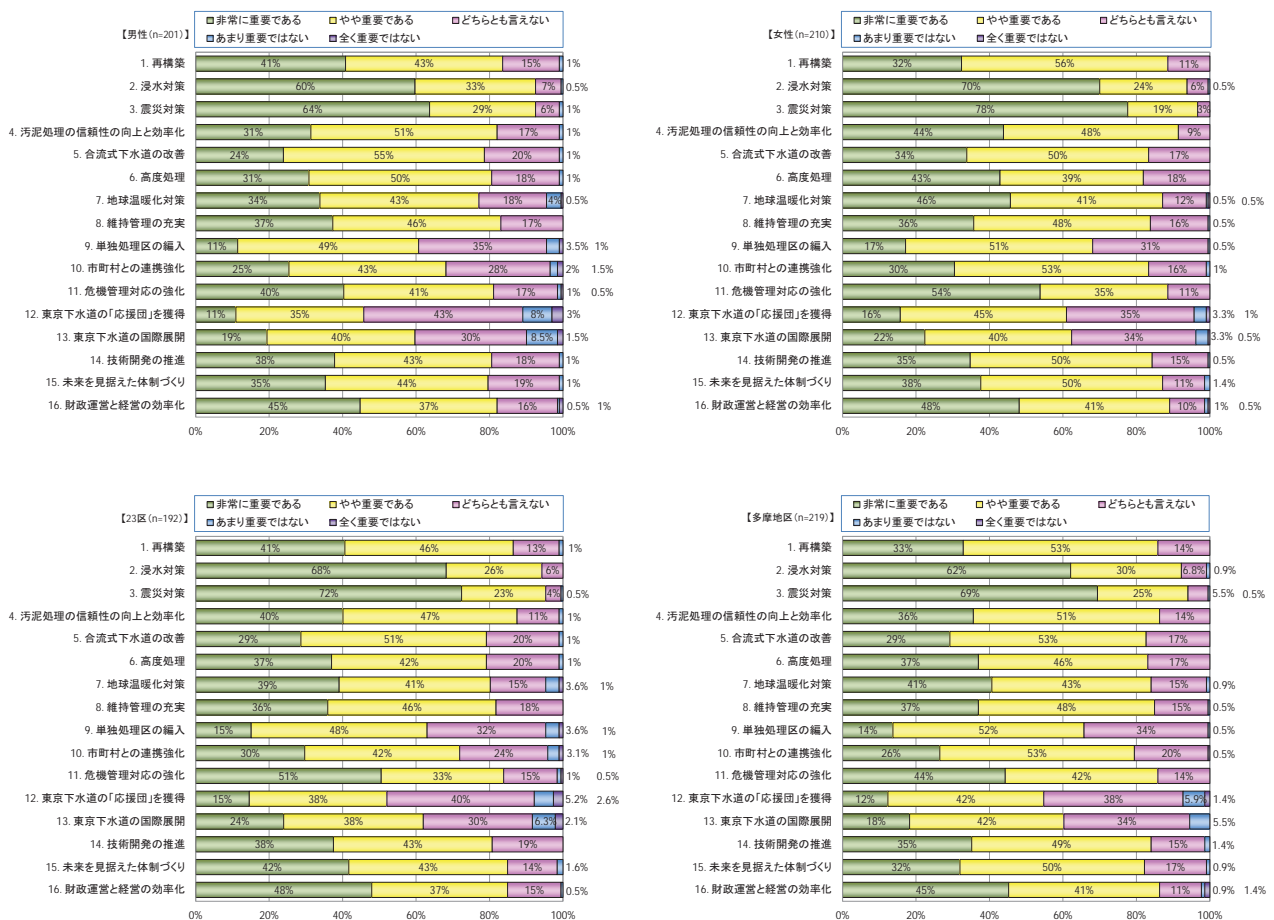


1-6. 東京都下水道事業の評価〔性別・地域別〕

- ◆ 「下水道事業」の評価について性別でみると、重要である（非常に重要である+やや重要である）と評価したもので、男性は「2.浸水対策」と「3.震災対策」が同じく 93%と最も高く、女性は「3.震災対策」が97%と最も高くなっている。
- ◆ 地域別でみると、23区と多摩地区は同じく「3.震災対策」がそれぞれ 95%、94%と最も高くなっており、次いで「2.浸水対策」がそれぞれ 94%、92%となっている。

Q7 『東京都下水道事業 経営計画2013』をお読みにになり、以下に示す東京都下水道局の各施策について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。（単一回答）

図1-6 「下水道事業」の評価〔性別・地域別〕

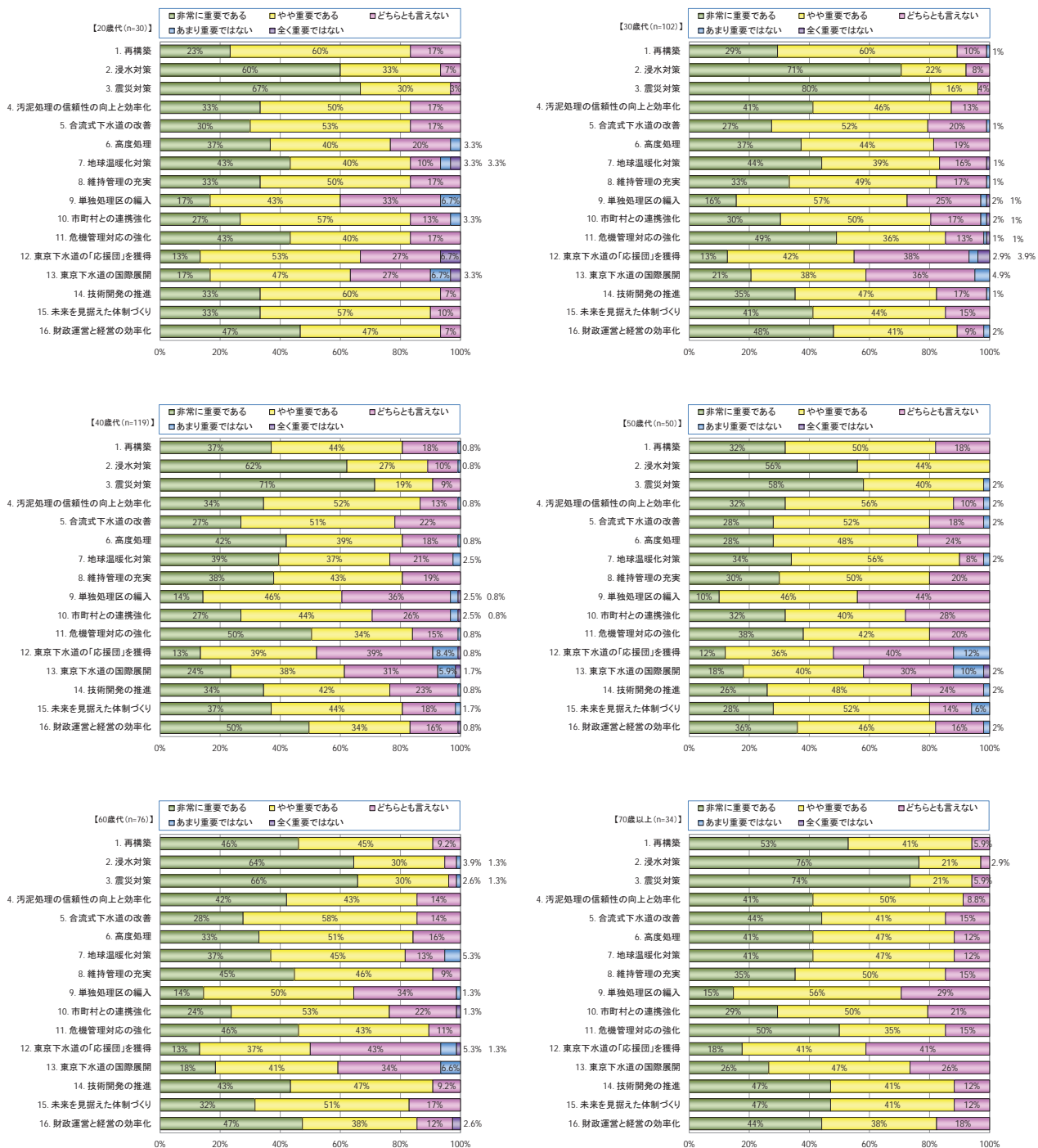


1-7. 東京都下水道事業の評価〔年代別〕

- ◆ 「下水道事業」の評価について年代別でみると、重要である（非常に重要である+やや重要である）と評価したもので、50歳代と70歳以上を除いた年代では「3.震災対策」が最も高く、それぞれ20歳代が97%、30歳代が96%、40歳代が91%、60歳代が96%となっており、50歳代と70歳以上では「2.浸水対策」が最も高く、それぞれ100%、97%となっている。

Q7 『東京都下水道事業 経営計画2013』をお読みにになり、以下に示す東京都下水道局の各施策について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの評価をお答えください。（単一回答）

図1-7「下水道事業」の評価〔年代別〕



1－8. 東京都下水道事業における低い評価の理由

◆ 「下水道事業」の低い評価の理由を多数お寄せいただいたので、一部紹介する。

Q8. 上記Q7の中で、「やや低い評価」「極めて低い評価」と思われるのはなぜですか？その理由についてご自由にお答え下さい（自由回答）。

図1－8「下水道事業」の低い評価の理由

1. 再構築
 - メンテナンス体制をしっかりとしていれば早急に対応する必要があるのか？と思います。（30 歳代男性、23 区）
 - 重要でないというのは言い過ぎかもしれないが、優先順位は低いように思う。（40 歳代男性、23 区）
2. 浸水対策
 - やりつくした感があるから。（40 歳代女性、多摩地区）
 - 浸水対象地区に住んでないから。20m 以上の浸水は起こりえないから。（60 歳代男性、多摩地区）
3. 震災対策
 - 東京で大地震が来る確率は、低いので、それよりもその他の事柄に費用を使うべきだと思う...（大雨の浸水などのほうがはるかに確率が高いと思う）（50 歳代男性、23 区）
 - 大地震が来たら為す術がないから。（60 歳代男性、多摩地区）
4. 汚泥処理の信頼性の向上と効率化
 - 今のままで充分。（50 歳代男性、23 区）
5. 合流式下水道の改善
 - そもそも意味が分からない。（30 歳代男性、23 区）
 - 重要性が低い。（50 歳代男性、23 区）
6. 高度処理
 - 現状のままでかなり処理されているのではないかと思うから。（40 歳代男性、23 区）
 - 水質を過剰に改善して河川に放流してもイメージは改善しないだろう。（20 歳代男性、23 区）
7. 地球温暖化対策
 - 下水道は他に比べてそれほど温室効果ガスを発生させているとは思わないから。（40 歳代男性、23 区）
 - コストや効率化を目的とし、低含水率型脱水機、焼却炉などの設備投資を確実に行うことが先決であり、その結果としてCO₂、NO₂が削減される効果があるため。地球温暖化対策を目的とするのではなく、あくまでも副産物としての扱い。（40 歳代男性、23 区）
8. 維持管理の充実
 - お金がかかる。（30 歳代女性、多摩地区）

9. 単独処理区の編入

- 八王子市、立川市及び三鷹市などが単独で運営している処理場について、問題としている背景がわかりにくかったため。これまで規模が小さいことをメリットとしていた部分もあると思うが、その点については評価されておらず、スケールメリットばかり主張しているため、疑問に感じた。(40 歳代男性、23 区)
- 単独処理区は単独のままでよいのでは？編入となると、余計なコストがかかると思います。(40 歳代男性、23 区)

10. 市町村との連携強化

- 互いに依存してしまう可能性がある。最大規模を誇る都が中心に、連携のあり方を考える必要があると思う。(40 歳代男性、23 区)
- 市町村の下水道事業を即時、吸収すべきである。(60 歳代男性、多摩地区)

11. 危機管理対応の強化

- 危機管理は、何か起きてから言うのではなく、常に準備すべき。強化も何も、普通にやれば良い。(30 歳代男性、23 区)
- 危機管理対応は強化すべきものではなく、当たり前のことであると思われるため。(40 歳代男性、23 区)

12. 東京下水道の「応援団」を獲得

- このような活動も必要だと思いますが、もっと異なった手法を考え出すことが必要だと思います。(60 歳代男性、多摩地区)
- 獲得のための施設を建設したとしても、下水道施設には修学旅行などの「仕方なく」行くという者しか来訪しないのではないかと。もしそうであれば、建設費や維持管理費はどのようにまかなうのか。財政的に余裕があるならばまだしも、そうでないならばこのような取り組みをする意義は感じられない。(20 歳代女性、多摩地区)

13. 東京下水道の国際展開

- 他の施策に比べると相対的に重要度が低いと思うが、技術を輸出し地球的環境に貢献するのは必要なことだと思う。(40 歳代男性、多摩地区)
- 都民の払い込み金で運用している（営利企業でない）公共の団体が、何故国際展開するのか？”東京下水道の国際展開”と云う言葉そのものに、違和感を感じる。(60 歳代男性、多摩地区)

14. 技術開発の推進

- 実際使える技術かどうかは判断できなかった。(30 歳代女性、多摩地区)
- 技術開発には多額のコストがかかるので。(50 歳代男性、多摩地区)

15. 未来を見据えた体制づくり

- 政権や財政で左右されることなので未来を描くより今できることをしっかりやる。(50 歳代女性、多摩地区)
- 下水道局、監理団体（東京都下水道サービス株式会社）及び民間事業者が行う事業形態を理想としているが、この体制にやや疑問であり、民間事業者がより参入、収益を得やすい体制を想定しているのか不明であるため、この体制を推進することは要検討。(40 歳代男性、23 区)

16. 財政運営と経営の効率化

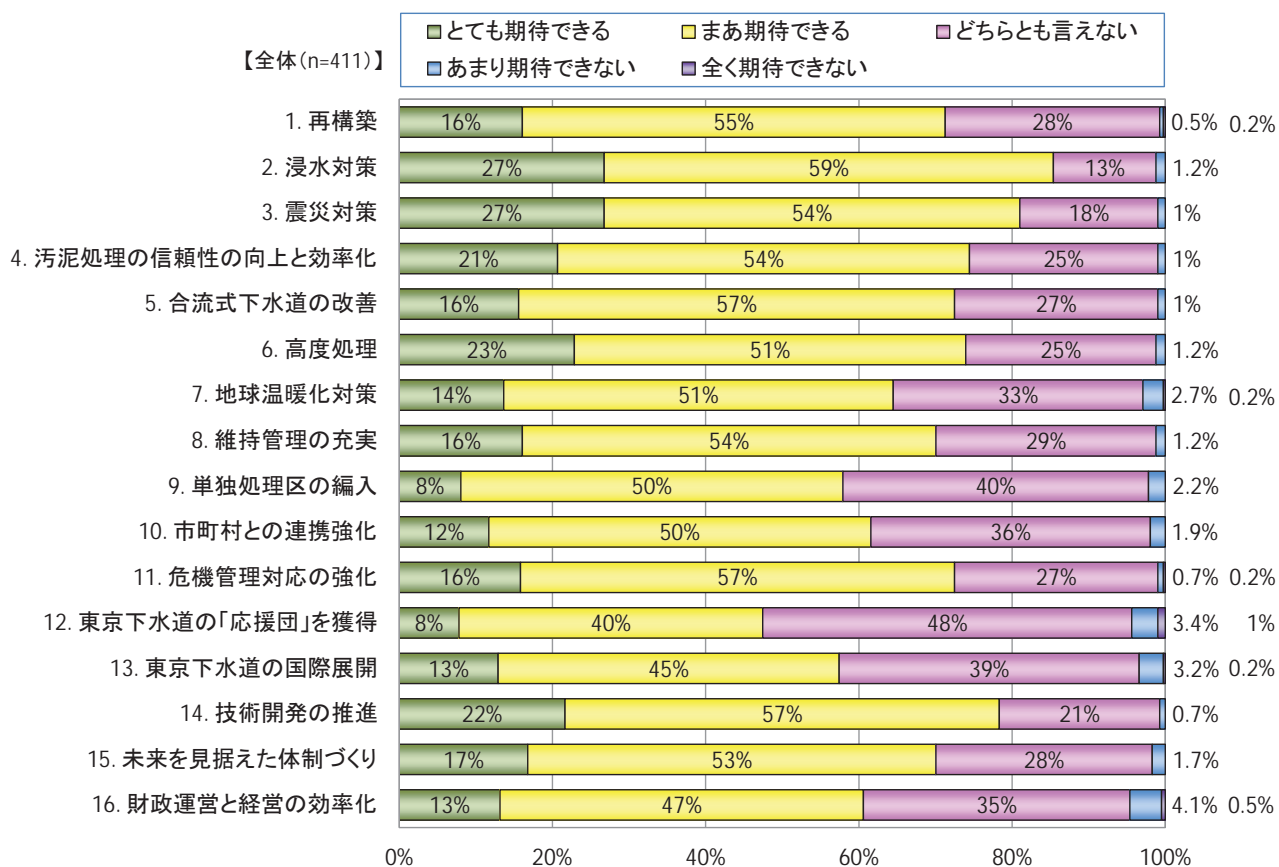
- 下水道のような公共サービスには効率化は求めるべきではないから。(40 歳代女性、多摩地区)
- 要るものは要るのだから、オリンピックや国体をやめて、全ての費用をつぎ込めばよい。ダイナミックな財政運営が必要である。(60 歳代男性、多摩地区)

1-9. 東京都下水道事業への期待度〔全体〕

- ◆ 「下水道事業」への期待度については、期待できる（とても期待できる+まあ期待できる）と回答したものは、「2. 浸水対策」が85%と最も高く、次いで「3. 震災対策」が81%、「14. 技術開発の推進」が78%となっており、「12. 東京下水道の「応援団」を獲得」が47%と最も低くなっている。

Q9 『東京都下水道事業 経営計画2013』をお読みにになり、以下に示す東京都下水道局の各施策の取組について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの期待度をお答えください。（単一回答）

図1-9 「下水道事業」への期待度〔全体〕

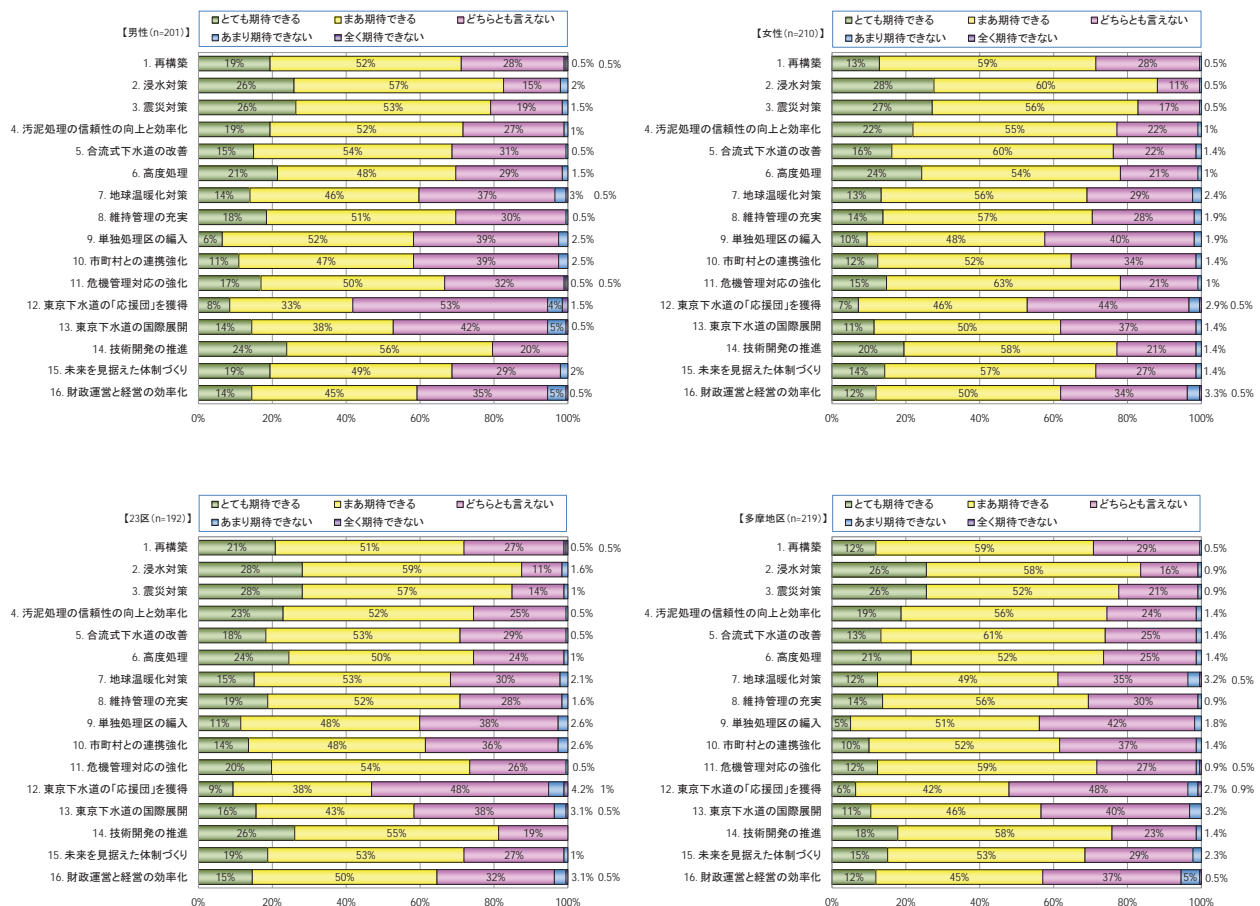


1－10. 東京都下水道事業への期待度〔性別・地域別〕

- ◆ 「下水道事業」への期待度について性別でみると、期待できる（とても期待できる+まあ期待できる）と回答したものは、男女共に「2.浸水対策」が最も高く、それぞれ 83%、88%となっており、次いで男性は「14.技術開発の推進」が80%、女性は「3.震災対策」が83%となっている。
- ◆ 地域別でみると、23区と多摩地区は同じく「2.浸水対策」がそれぞれ88%、84%と最も高く、次いで「3.震災対策」がそれぞれ85%、78%となっている。

Q9 『東京都下水道事業 経営計画2013』をお読みにになり、以下に示す東京都下水道局の各施策の取組について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの期待度をお答えください。（単一回答）

図1－10「下水道事業」への期待度〔性別・地域別〕

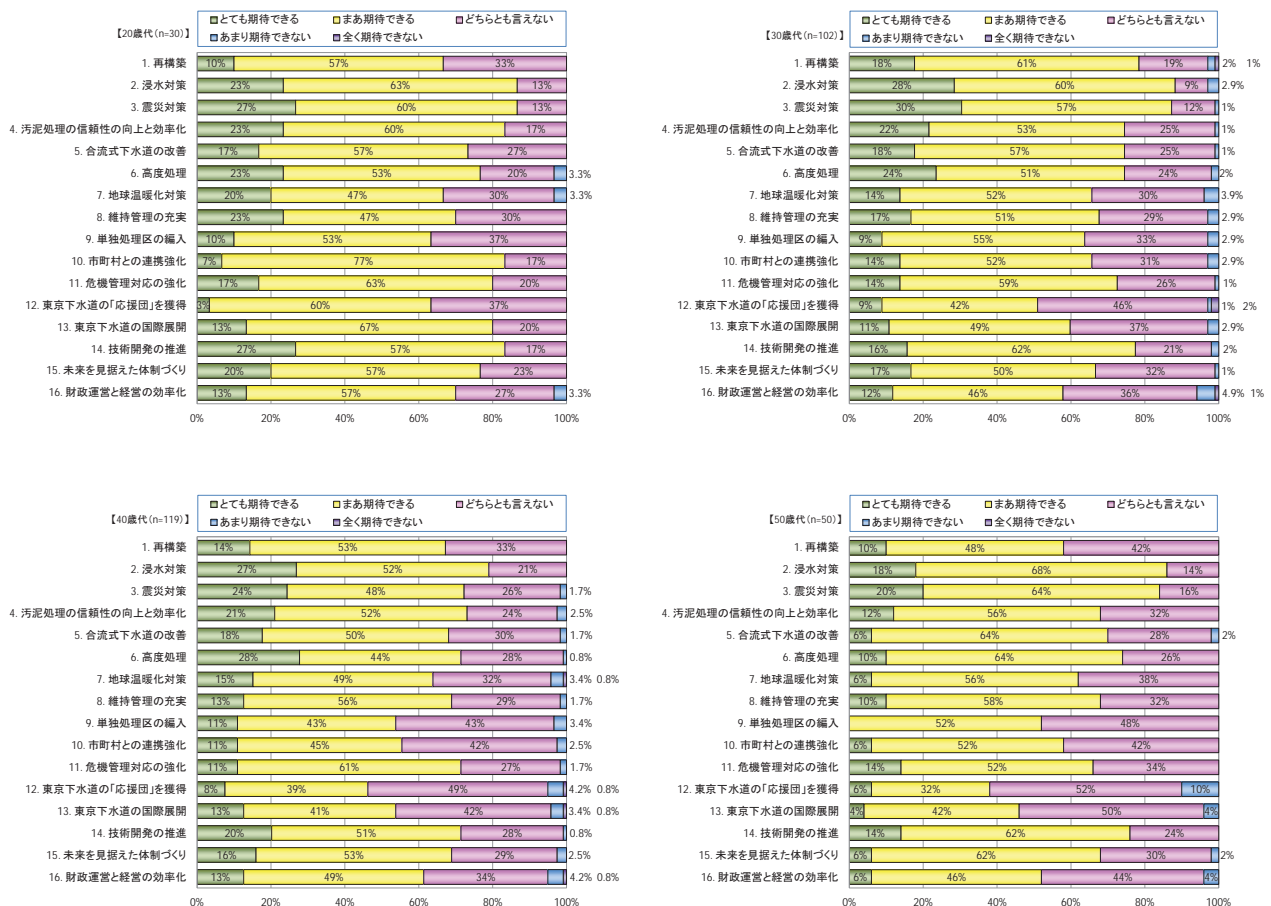


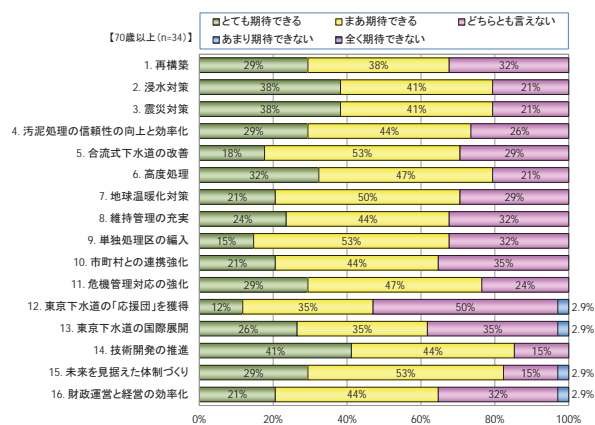
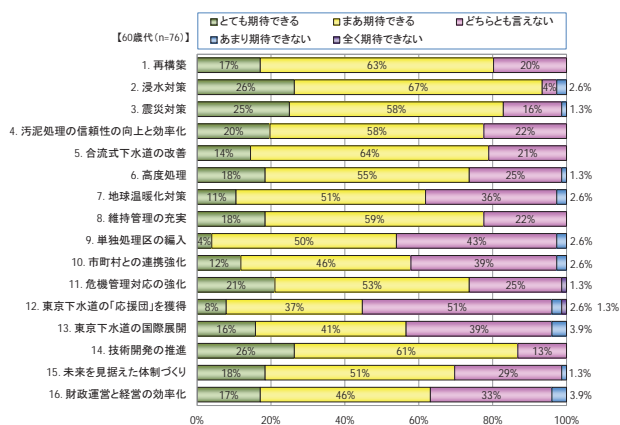
1-1 1. 東京都下水道事業への期待度〔年代別〕

- ◆ 「下水道事業」への期待度について年代別でみると、期待できる（とても期待できる+まあ期待できる）と回答したもので、70 歳以上を除いた年代では「2.浸水対策」が最も高く、それぞれ 20 歳代が 87%、30 歳代が 88%、40 歳代が 79%、50 歳代が 86%、60 歳代が 93%となっており、70 歳以上は「14.技術開発の推進」が 85%と最も高い結果となっている。20 歳代では「3.震災対策」も「2.浸水対策」と同じく 87%である。

Q9 『東京都下水道事業 経営計画2013』をお読みにになり、以下に示す東京都下水道局の各施策の取組について、それぞれ該当する選択肢を一つだけお選びいただき、あなたの期待度をお答えください。（単一回答）

図1-1 1 「下水道事業」への期待度〔年代別〕



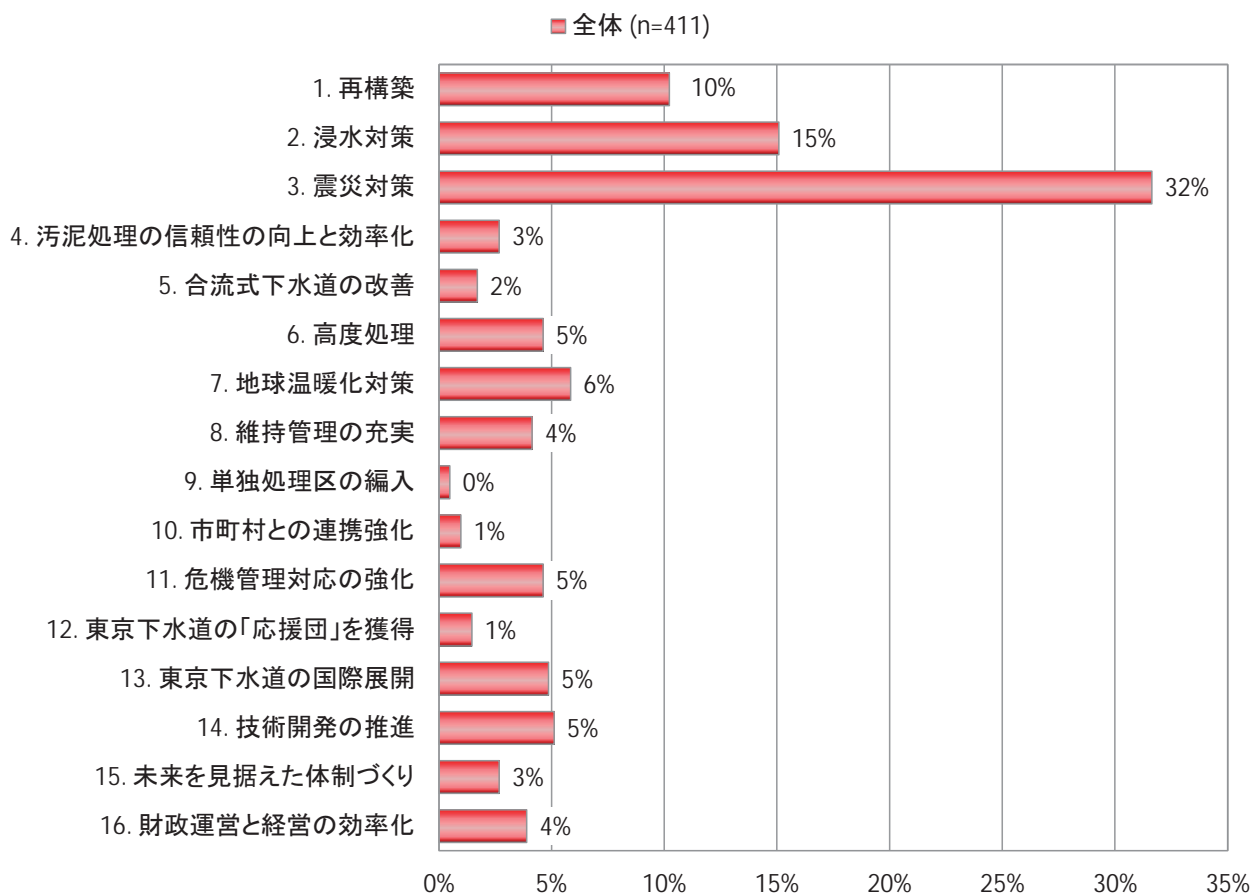


1－12. 東京都下水道事業に期待する施策〔全体〕

- ◆ 「下水道事業」期待施策については、「3.震災対策」が32%と最も高く、次いで「2.浸水対策」が15%、「1.再構築」が10%である。

Q10. 上記Q9の中で、最も期待されている施策名と理由についてご自由にお答え下さい（自由回答）。

図1－12 「下水道事業」期待施策〔全体〕

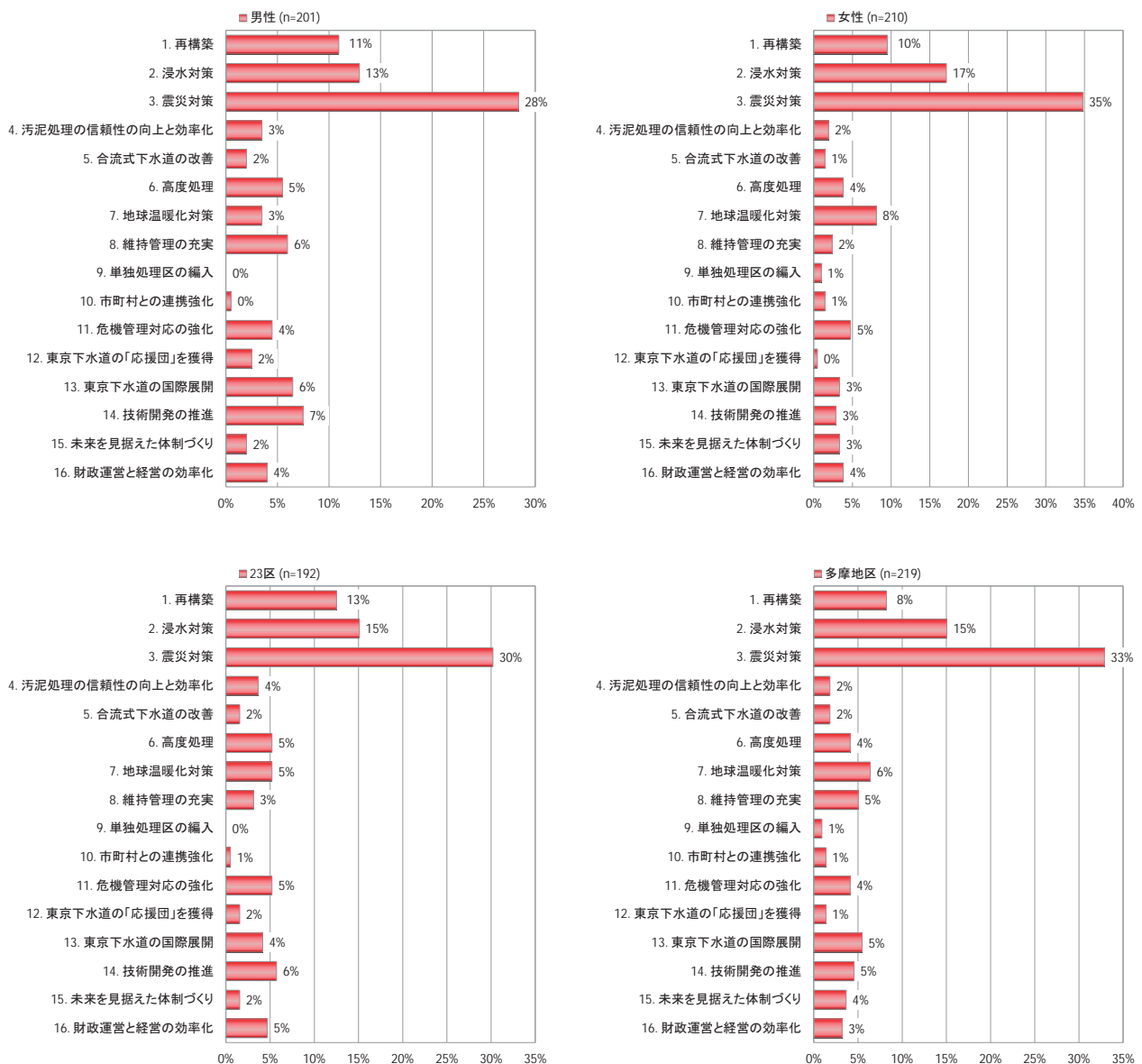


1-13. 東京都下水道事業に期待する施策〔性別・地域別〕

- ◆ 「下水道事業」期待施策を男女別でみると、男女ともに「3.震災対策」が最も高く、男性 28%、女性 35%、次いで「2.浸水対策」男性 13%、女性 17%、「1.再構築」男性 11%、女性 10%となっている。
- ◆ 地域別でみると、23 区、多摩地区ともに「3.震災対策」が最も高く、23 区 30%、多摩地区 33%、次いで「2.浸水対策」23 区、多摩地区ともに 15%、「1.再構築」23 区 13%、多摩地区 8%である。

Q10. 上記Q9の中で、最も期待されている施策名と理由についてご自由にお答え下さい（自由回答）。

図1-13 「下水道事業」期待施策〔性別・地域別〕

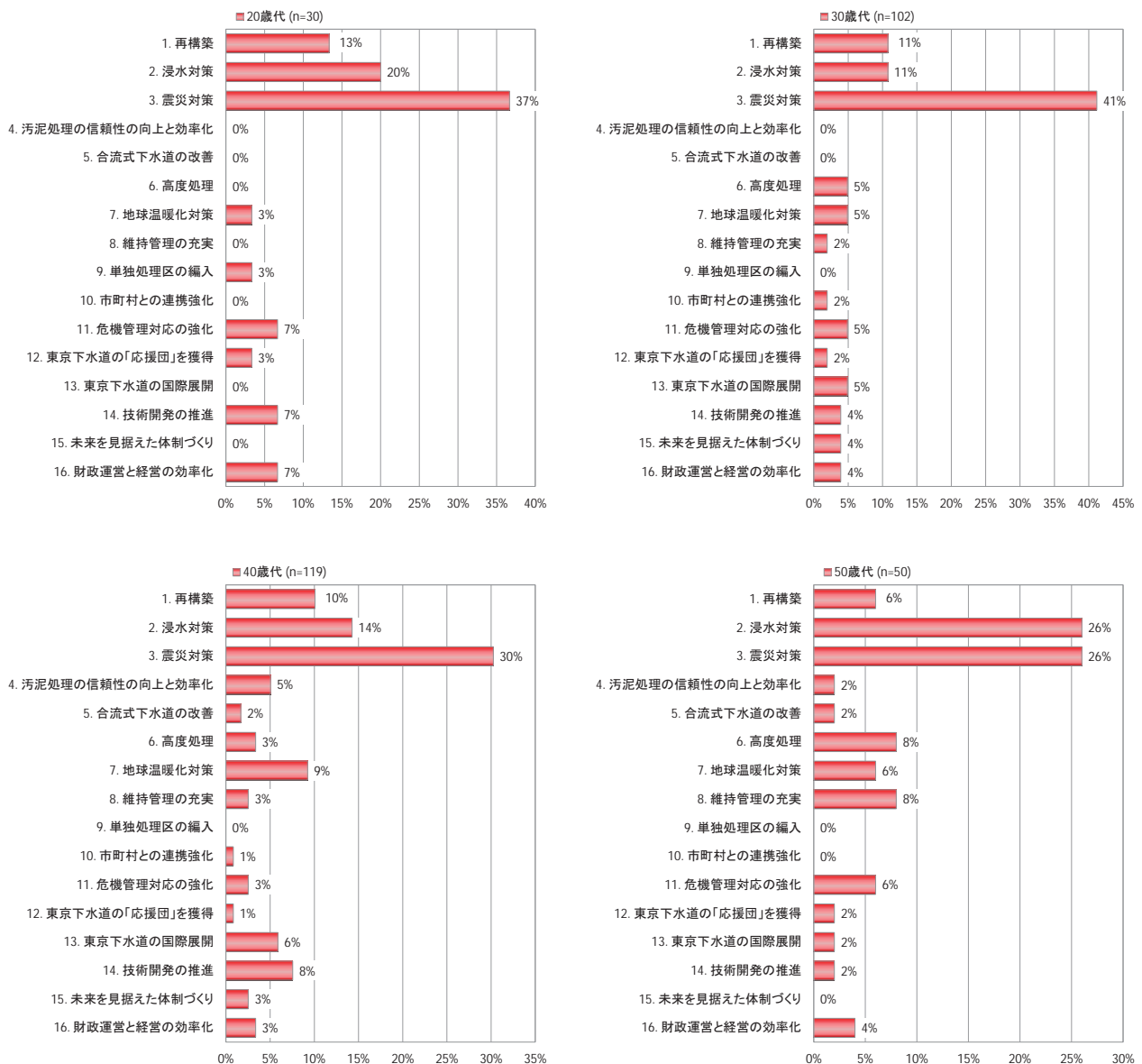


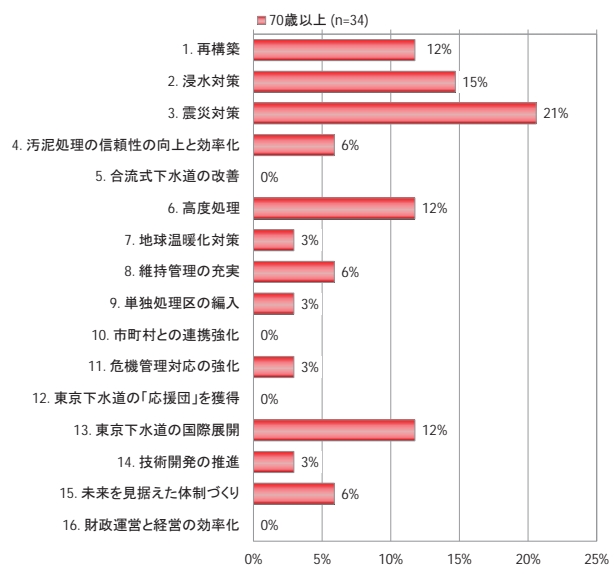
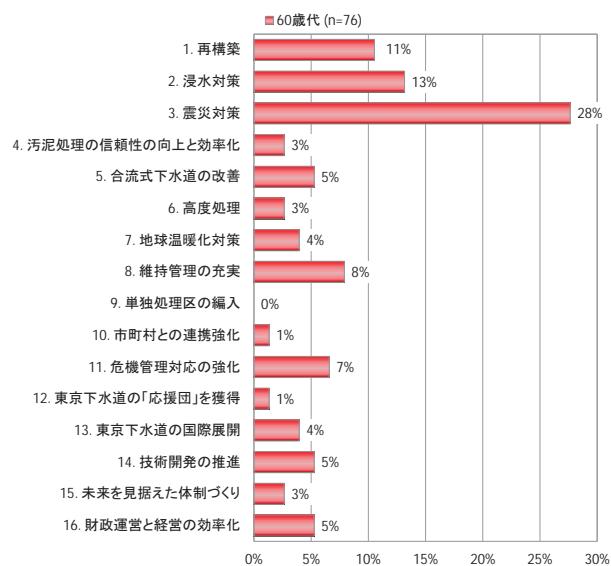
1-14. 東京都下水道事業に期待する施策〔年代別〕

- ◆ 「下水道事業」期待施策を年代別でみると、どの年代も全体と同じく、「3.震災対策」が最も高く、それぞれ20歳代37%、30歳代41%、40歳代30%、50歳代26%、60歳代28%、70歳以上21%であり、50歳代の「2.浸水対策」も同じく26%となっている。

Q10. 上記Q9の中で、最も期待されている施策名と理由についてご自由にお答え下さい（自由回答）。

図1-14 「下水道事業」期待施策〔年代別〕



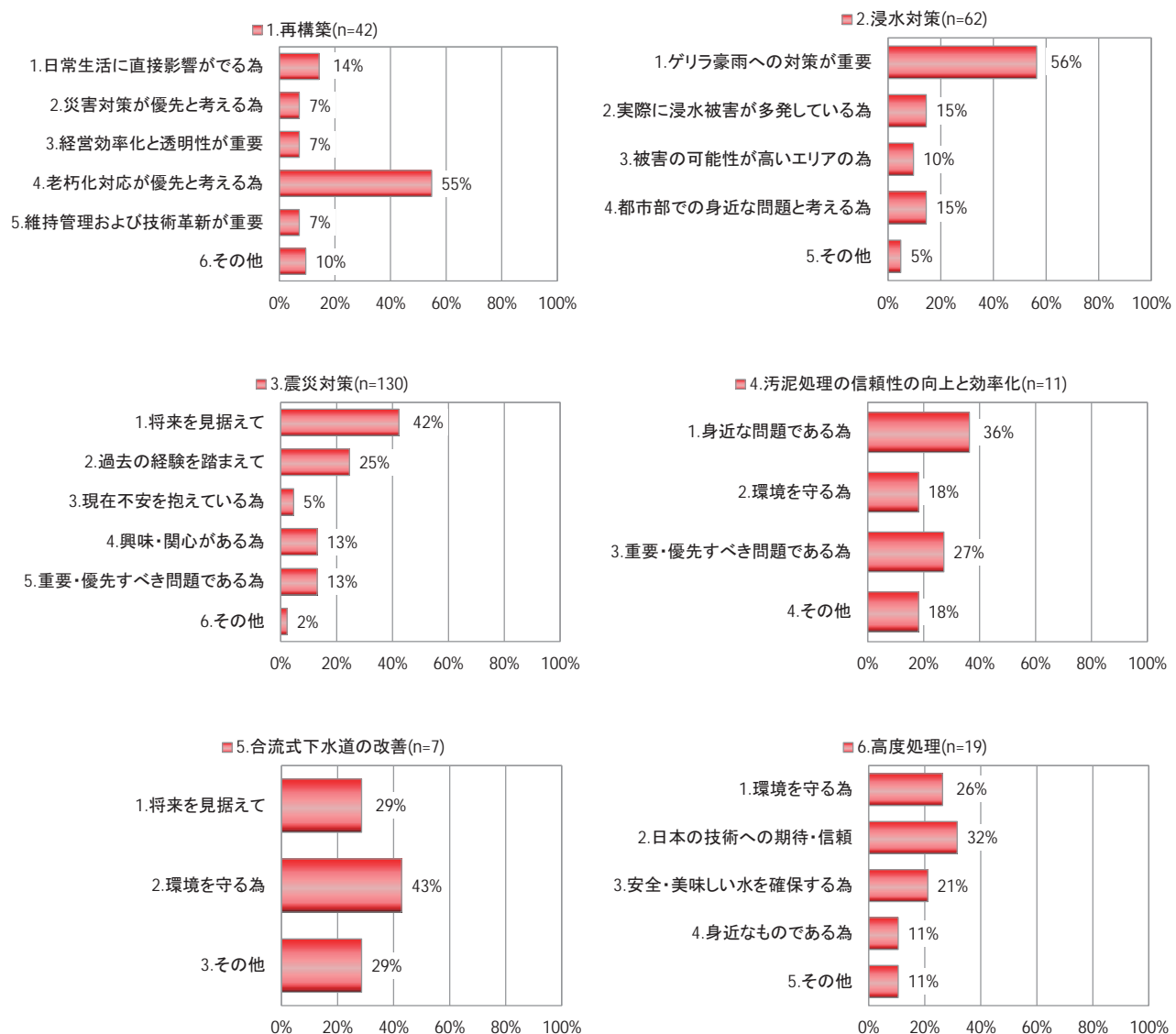


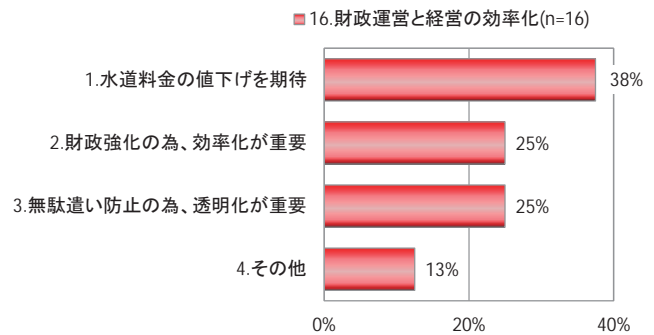
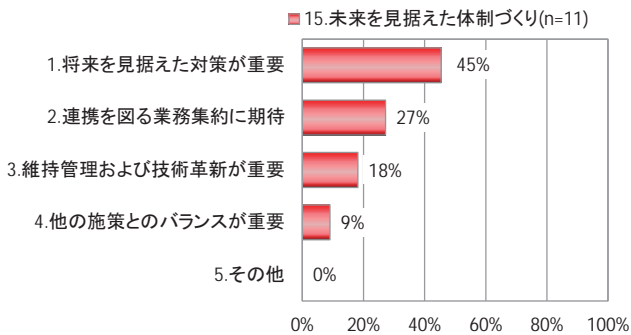
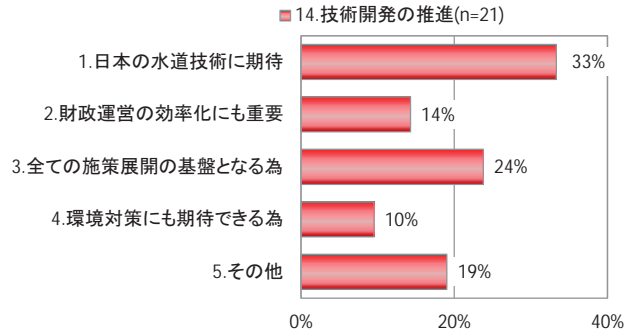
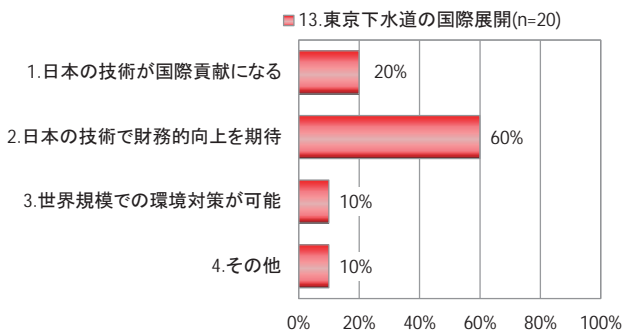
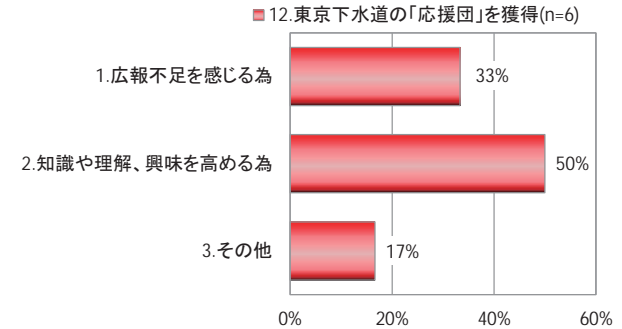
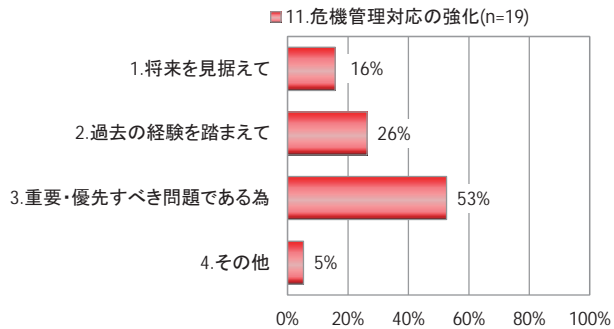
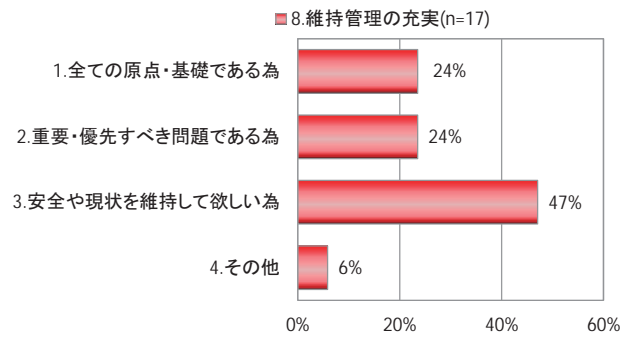
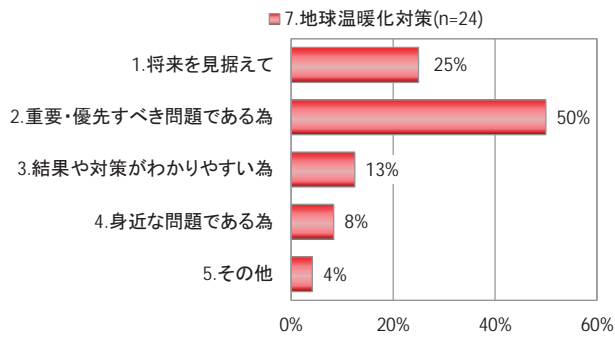
1－15. 東京都下水道事業に期待する施策の理由

- ◆ 「下水道事業」に期待する施策として、【1.再構築】、【2.浸水対策】、【3.震災対策】が上位に挙がった。これらを期待する理由として、【1.再構築】については「4.老朽化対応が優先と考える為」が55%を占めている。また、【2.浸水対策】については「ゲリラ豪雨への対策が重要」が56%、【3.震災対策】については「将来を見据えて」が42%を占めている。

Q10. 上記Q9の中で、最も期待されている施策名と理由についてご自由にお答え下さい（自由回答）。

図1－15「下水道事業」期待する施策の理由





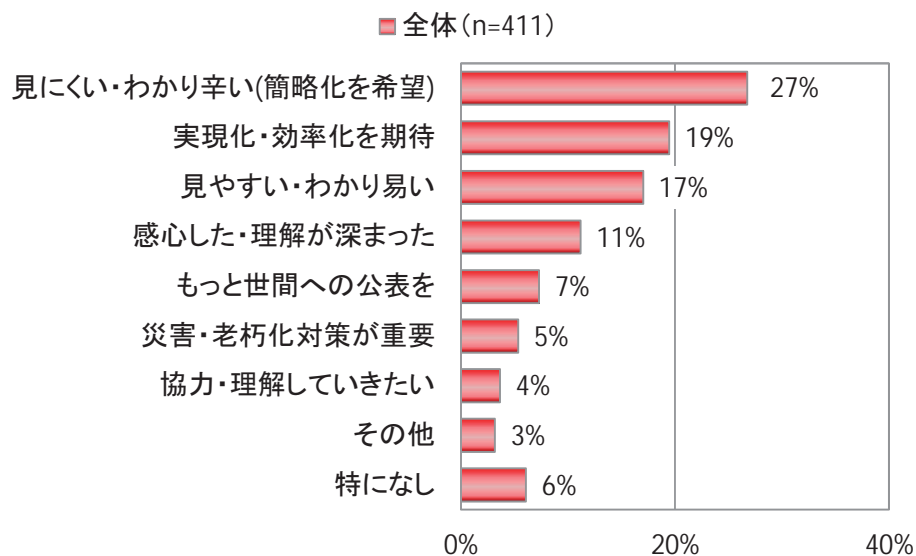
(※9. 単独処理区の編入、10. 市町村との連携強化は回答者が5人未満のため、自由解答の分類については省略とする)

1-16. 東京都下水道事業についての感想又は意見

- ◆ 「下水道事業」についての感想又は意見では、「見にくい・わかり辛い(簡略化を希望)」が27%と最も高く、次いで「実現化・効率化を期待」が19%、「見やすい・わかり易い」が17%となっている。
- ◆ 以下に、「下水道事業」についての感想又は意見を多数お寄せいただいたので、一部紹介する。

Q11. よろしければ、『東京都下水道事業 経営計画2013』に対する率直なご感想やご意見などをお聞かせください。(自由回答)

図1-16 「下水道事業」についての感想又は意見



1. 見にくい・わかり辛い(簡略化を希望)

- 総論ばかりで、何が問題で何をしたいのかよく分からない。長々と読んだ割に、頭に入ってこない。(30歳代男性、23区)
- もう少しコンパクトにまとめてもらえると読みやすいと思う。絵図が多用されているのはよかった。(30歳代女性、23区)
- 正直、全てを読み下すには内容、ページ数が膨大すぎる。結局どこに集中して事業を展開しようとしているのか判断しがたい。すべての目標は正しい、しかし全てを同じように力を入れようとしても、資金も人材も不足する筈。今何が問題なのか、この10年の間に何をやるのかの明確な絞り込みをして経営計画を立てて欲しかった。(60歳代男性、多摩地区)
- 全体的にカラーで見やすいが、難しい話が多いのでイラスト説明がもう少しあった方が理解しやすいと思う。回答にあたり「東京都下水道事業 経営計画2013」が63ページもあるのなら白黒コピーでいいので書面で送ってほしい。(40歳代女性、多摩地区)

2. 実現化・効率化を期待

- 経営計画2013は、非常に多岐に亘っているが、全てが重要な項目と思うので、100%達成に向けて、最大限の努力をして頂きたい。(70歳以上男性、23区)
- 100%計画通りに行くことは難しいでしょうが、計画を立てたからには沿えるように頑張してほしいです。(30歳代女性、23区)
- 中身については毎年対して代わり映えない印象である。確実に実施していくことを希望する。(40歳代男性、多摩地区)
- とても詳しく、そして内容も濃いものになっていると思います。多くが実現できるようにと願っております。(30歳代女性、多摩地区)

3. 見やすい・わかり易い

- 全体的に文章、グラフや数字等のバックデータもしっかりして居り説得力が有る。(50歳代男性、23区)
- とても見やすく、丁寧に作られていました。職員の方の真摯な取り組みが伝わってくるようでした。(40歳代女性、23区)
- 大変多くの情報が上手くまとまっているように感じました。可能であればさらにポイントだけに省略して記載したエグゼクティブサマリー(概略)のページが巻頭に数ページあると全体像の把握に役立つと思われます。(30歳代男性、多摩地区)
- 読み応えがあり、とてもよくまとまっていた経営計画で、期待が持てます。(50歳代女性、多摩地区)

4. 感心した・理解が深まった

- 我々都民に分かり易く説明されている経営計画2013を拝読致しました。下水道の歴史的背景はじめ2013年度重点取組課題の狙いと実行計画など 今まで知り得なかった部分の説明に触れて、老骨にはずいぶん勉強になりました。就中、2013年区部下水道事業経営計画4350億円の取組等は 興味深く拝読致しました。分かり易く説明するための資料づくりに腐心された 担当事務局の労に感謝します。(70歳以上男性、23区)
- 多角的な取り組みをしていることが理解できました。(30歳代女性、23区)
- 全般に難しいので個別の施策に対しては簡単には書けないが、非常に真摯に取り組んでいると感じた。(40歳代男性、多摩地区)
- 経営計画は自分とは関係ないかと思って目を通していたが、この計画が遂行されることによって私達が安心して、過ごせるのだなと感じた。(30歳代女性、多摩地区)

5. もっと世間への公表を

- 全体的には非常によくまとめた資料だと思います。この内容を、我々利用者、行政、市区町村によく理解してもらうことが重要だと思います。今回下水道モニターということで初めて目にしましたが、計画をパート分けしてわかりやすく広くPRできる場があると良いと思います。(40歳代男性、23区)
- 地域との連携協力をお願いしているのと、協力隊、国際的な展開と下水道の見える化計画など、一般の人にも下水道処理の大切さをアピールして協力を一人でも多くの人にやってもらえるように広報活動もして欲しいです。良い計画なので多くの人にぜひ知ってほしいと思います。(50歳代女性、23区)
- 良くも悪くも結果を知らせてください。(30歳代男性、多摩地区)
- 一般の人に内容を知ってもらう方法をもっと考えたほうがよいとおもう。私もモニターにならなければ、このようなものがあることを知らなかったと思う。(40歳代女性、多摩地区)

6. 災害・老朽化対策が重要

- 下水道事業計画は、地球温暖化対策や危機管理に対する計画が素晴らしい。下水道は水の入り口だと感じます、この事業がしっかりしていれば生活環境がもっとよくなると思う。(50 歳代男性、23 区)
- よくまとまっている。防災対策についての強化を強くのぞむ。(30 歳代女性、23 区)
- 都市部、特に 23 区での計画、推進が中心となっており、多摩地区に住む者としてはちょっと物足りなかった。また、直接の管轄でないがつながっており、重要な問題でもある水道管の老朽化対策についても今後協力してどのように取り組んでいくのかを教えてほしい。(40 歳代男性、多摩地区)
- 無駄なことは省き、浸水、地震対策等、重要なことをより早く取り組んでいただければ幸いです。防げる自然災害の為に公共工事には予算をしっかりとけて早急に対処してほしいです。(30 歳代女性、多摩地区)

7. 協力・理解していきたい

- 今回、初めての経営計画なので、時間をかけて読みたいです。(60 歳代男性、23 区)
- ページ数がたくさんあって大変でしたがモニターになったので頑張ります。(40 歳代女性、23 区)
- 人間の身体に例えれば人間の臓器のようなもので、維持管理をしなくては老化し、使い物にならなくなります。定期健診で早期発見をしていることと同じです。そこには移植であったり、手術であったりと東京都下水道局のドクターが研究に研究を重ね、水道事業 経営計画 2013 から熱く感じられます。そのための応援団やモニターも、都民も協力をしたいと思います。(70 歳以上男性、多摩地区)
- 読み込んでいくと、どの事業もとても大切なものだと感じました。これを全部やっていくのは大変でしょうが、少しずつでもがんばってください。私もなるべく周りの人に伝えられるようがんばります。(20 歳代女性、多摩地区)

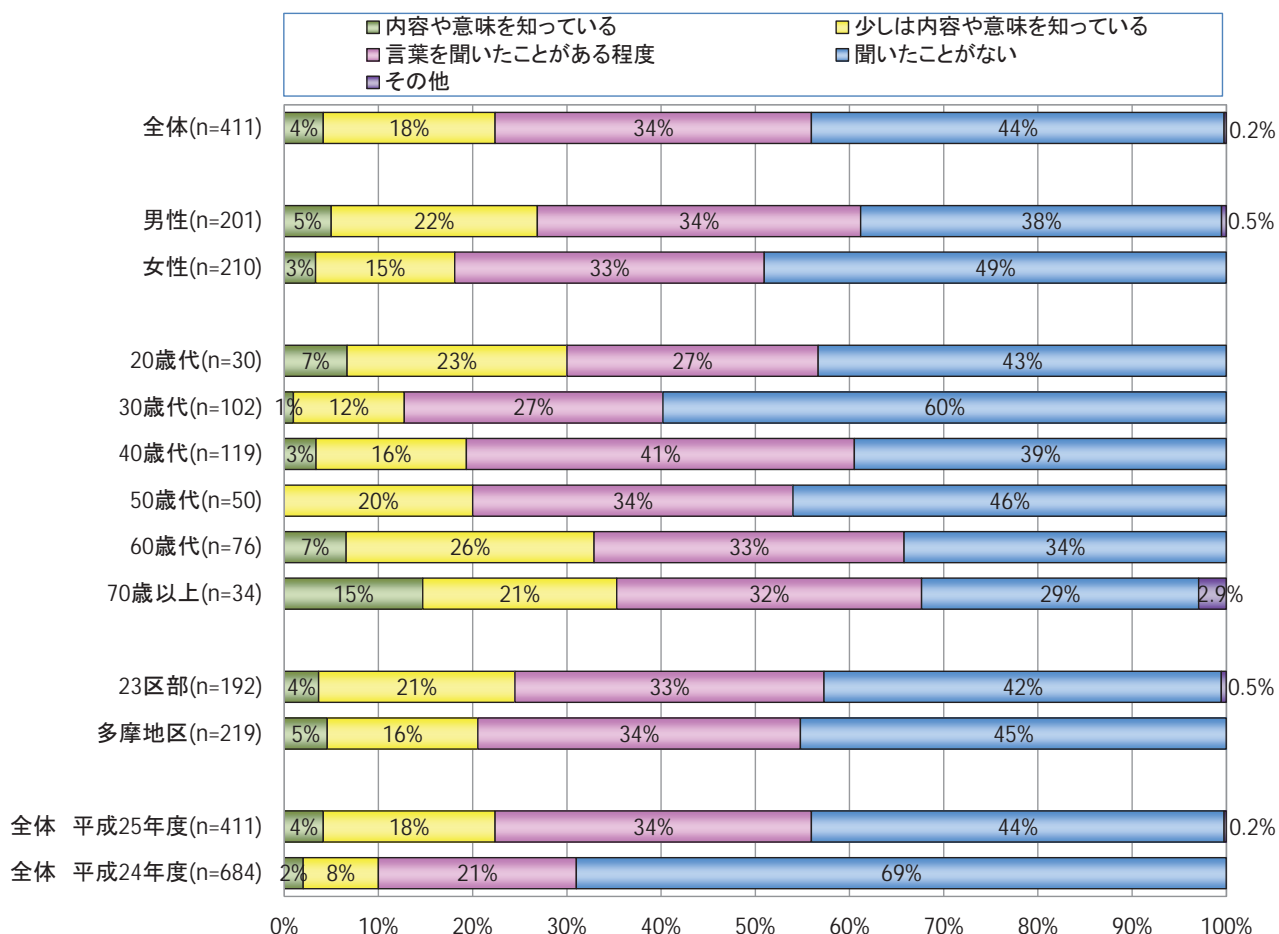
2. 家庭での浸水への対策

2-1. 「浸水対策強化月間」の認知度

- ◆ 浸水対策強化月間の認知度については、「内容や意味を知っている」が 4%、「少しは内容や意味を知っている」が 18%、「言葉を聞いたことがある程度」が 34%となっており、全体で 56%となっている。
- ◆ 性別でみると、「内容や意味を知っている」「少しは内容や意味を知っている」「言葉を聞いたことがある程度」の合計は、男性が 61%、女性が 51%であり、男性の方が 10 ポイント高かった。
- ◆ 年代別では、30 歳代と 50 歳代を除いた年代では年齢が高くなるほど認知度が高まる傾向が顕著であり、最も多い 70 歳以上の 68%に対して、30 歳代は 40%と 28 ポイント低かった。
- ◆ 地域別でみると、23 区が 57%、多摩地区が 55%で、23 区の方が 2 ポイント高かった。
- ◆ 平成 24 年度調査と比較すると、全体の認知度は 31%から 25 ポイント高くなった。

Q12. あなたは、「浸水対策強化月間」についてどのくらいご存知ですか。以下の選択肢の中から該当するものを一つだけお選びください。（単一回答）

図 2-1 「浸水対策強化月間」の認知度



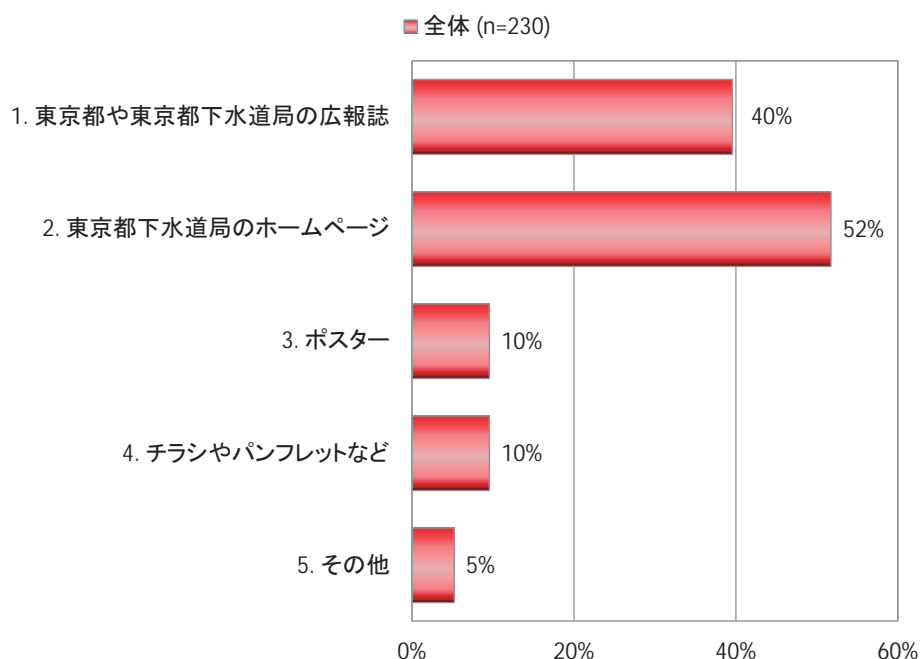
2-2.「浸水対策強化月間」の認知経路〔全体〕

- ◆ 「浸水対策強化月間」の認知経路については、「2.東京都下水道局のホームページ」が52%と最も高く、次いで「1.東京都や東京都下水道局の広報誌」が40%、「3.ポスター」と「4.チラシやパンフレットなど」が同じく10%となっている。

Q13. 上記Q12で、「1～3」を選択した人におたずねします。

「浸水対策強化月間」をどこで知りましたか。以下の選択肢の中から、以下の選択肢の中から、該当するものをいくつでもお答え下さい（複数回答）。

図2-3 「浸水対策強化月間」の認知経路〔全体〕



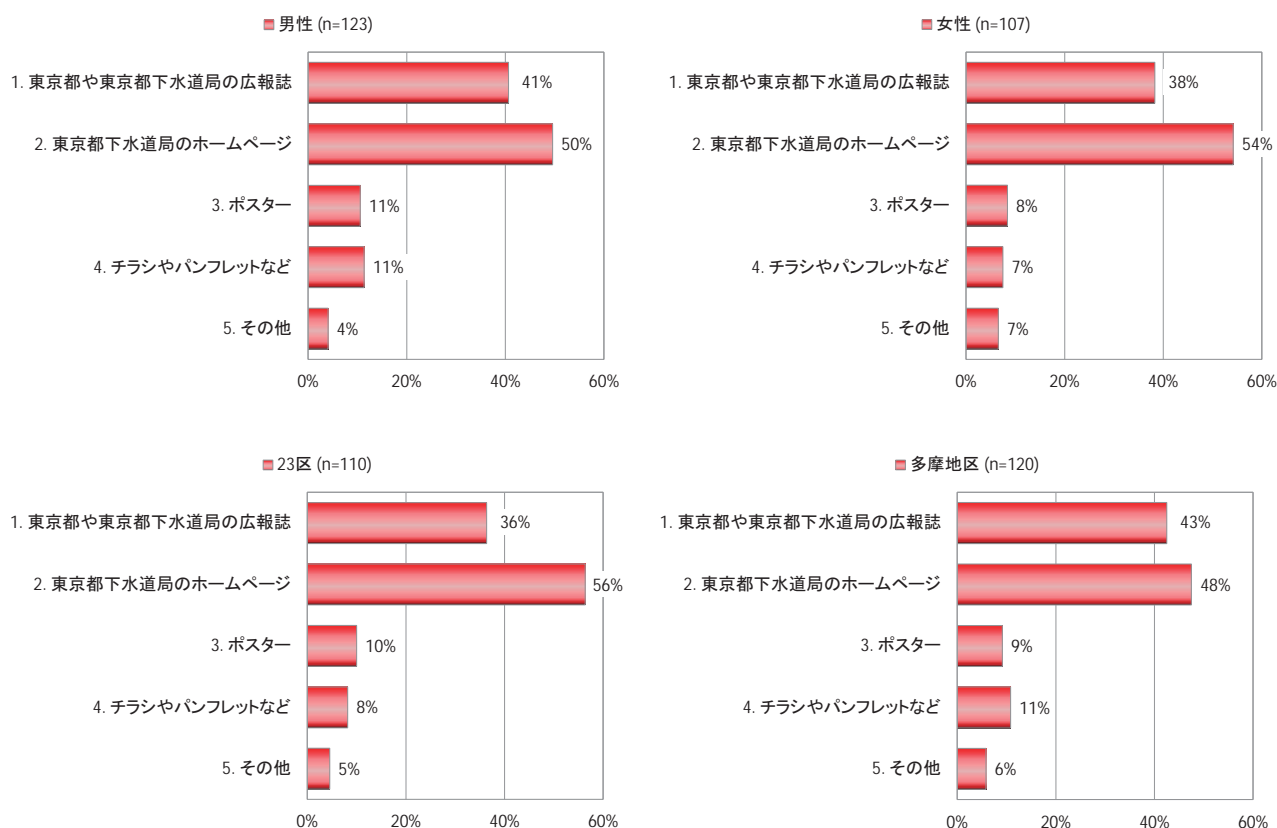
2-3. 「浸水対策強化月間」の認知経路〔性別・地域別〕

- ◆ 「浸水対策強化月間」の認知経路について性別でみると、「1.東京都や東京都下水道局の広報誌」は男性が41%、女性が38%と男性の方が3ポイント高く、「2.東京都下水道局のホームページ」は男性が50%、女性が54%と女性の方が4ポイント高かった。
- ◆ 地域別でみると、「1.東京都や東京都下水道局の広報誌」は23区が36%、多摩地区が43%と多摩地区の方が7ポイント高く、「2.東京都下水道局のホームページ」は23区が56%、多摩地区が48%と23区の方が6ポイント高かった。

Q13. 上記Q12で、「1～3」を選択した人におたずねします。

「浸水対策強化月間」をどこで知りましたか。以下の選択肢の中から、以下の選択肢の中から、該当するものをいくつでもお答え下さい（複数回答）。

図2-3 「浸水対策強化月間」の認知経路〔性別・地域別〕



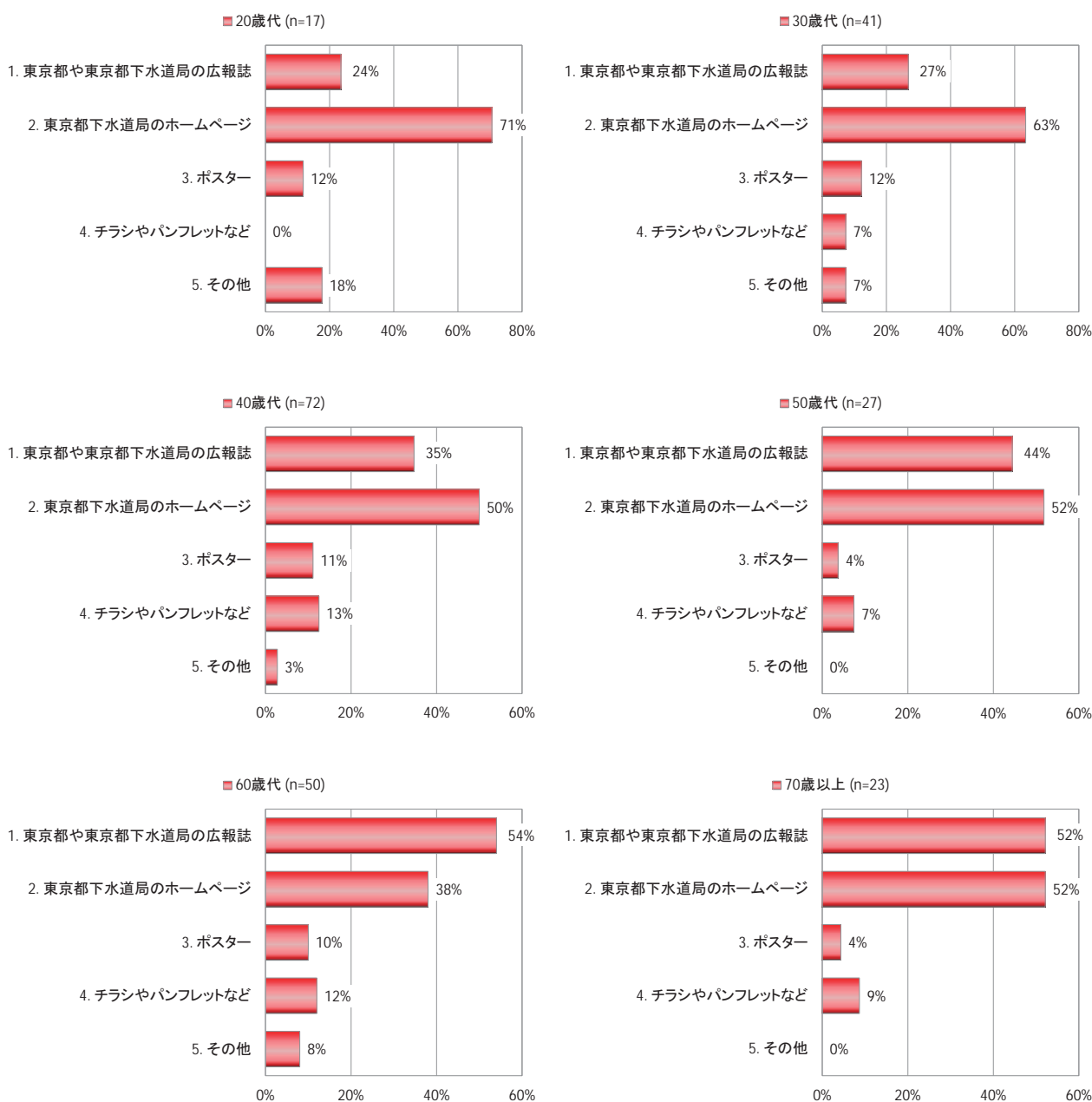
2-4. 「浸水対策強化月間」の認知経路〔年代別〕

- ◆ 「浸水対策強化月間」の認知経路について年代別でみると、「1.東京都や東京都下水道局の広報誌」は20歳代が24%、30歳代が27%、40歳代が35%、50歳代が44%、60歳代が54%、70歳以上が52%となっており、「2.東京都下水道局のホームページ」は20歳代が71%、30歳代が63%、40歳代が50%、50歳代が52%、60歳代が38%、70歳以上が52%となっている。
- ◆ 20歳代と30歳代では他の年代より広報誌を見る傾向が少なく、60歳代では他の年代よりパソコン等使ってホームページを見る傾向が少ないことが分かる。

Q13. 上記Q12で、「1～3」を選択した人におたずねします。

「浸水対策強化月間」をどこで知りましたか。以下の選択肢の中から、以下の選択肢の中から、該当するものをいくつでもお答え下さい（複数回答）。

図2-3 「浸水対策強化月間」の認知経路〔年代別〕



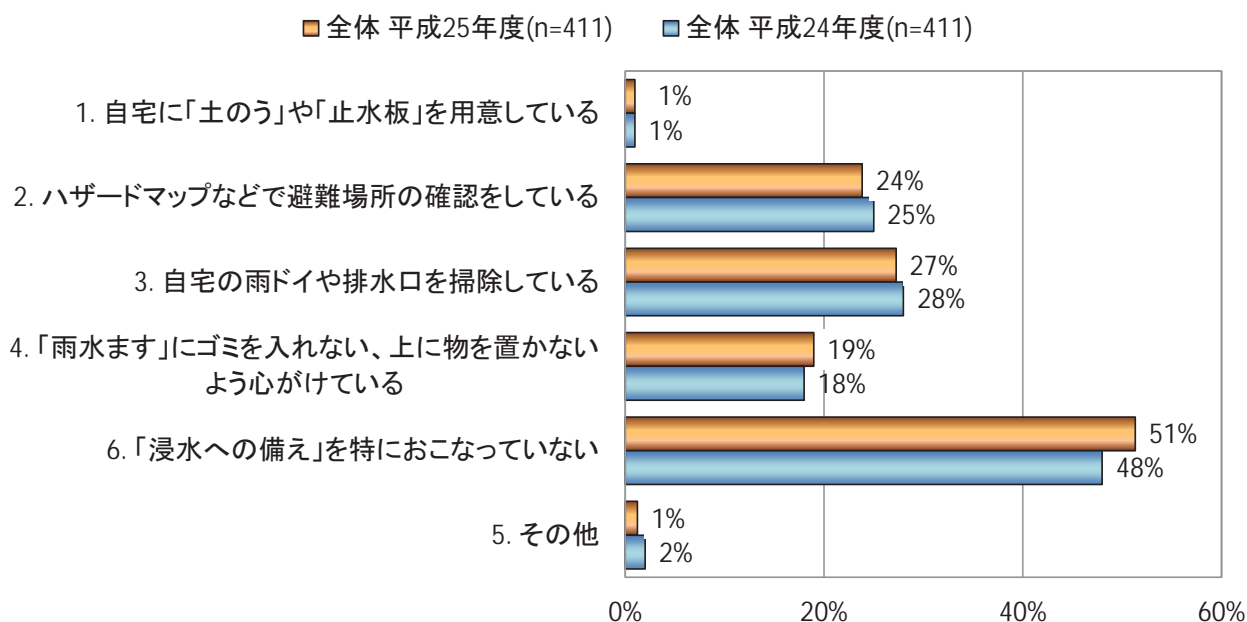
2-5. ご家庭での浸水対策について〔全体〕

- ◆ 家庭での浸水対策については、「3.自宅の雨ドイや排水口を掃除している」が27%と最も高く、次いで「2.ハザードマップなどで避難場所の確認をしている」が24%、「4.「雨水ます」にゴミを入れない、上に物を置かないよう心がけている」が19%となっているに対して、「6.「浸水への備え」を特におこなっていない」が51%と半数以上の回答者が設問に挙げた対策を行っていないことが分かった。
- ◆ 平成24年度調査との比較では、「3.自宅の雨ドイや排水口を掃除している」については28%から1ポイント、「2.ハザードマップなどで避難場所の確認をしている」については25%から1ポイント低くなっており、「4.「雨水ます」にゴミを入れない、上に物を置かないよう心がけている」については18%から1ポイント、「6.「浸水への備え」を特におこなっていない」については48%から3ポイント高くなっている。平成24年度調査に比較して、浸水対策の実施割合は大きな変化が見られない。

Q14. 次に「浸水への備え」についておうかがいします。

次の中で、あなたが日頃から行っている「浸水への備え」はありますか。以下の選択肢のうち、「1～5」については該当するものをいくつでもお答え下さい（複数回答）。「1～5」で該当するものがない場合は、「6」をお選びください。

図2-6 ご家庭での浸水対策について〔全体〕



※その他の意見（自由回答）の例

「泥が溜まるので雨水ますの掃除をしている」

「東京アメッシュなど、ゲリラ豪雨にたいする情報収集を常にしている」

「マンションのベランダ排水口にゴミをためないように心がけています」

「下水の逆流に備えるため、相当量の集中豪雨の場合、風呂の水を抜かない」

「雨が強いときは洗濯やお風呂、食器洗いをしないようにしている」

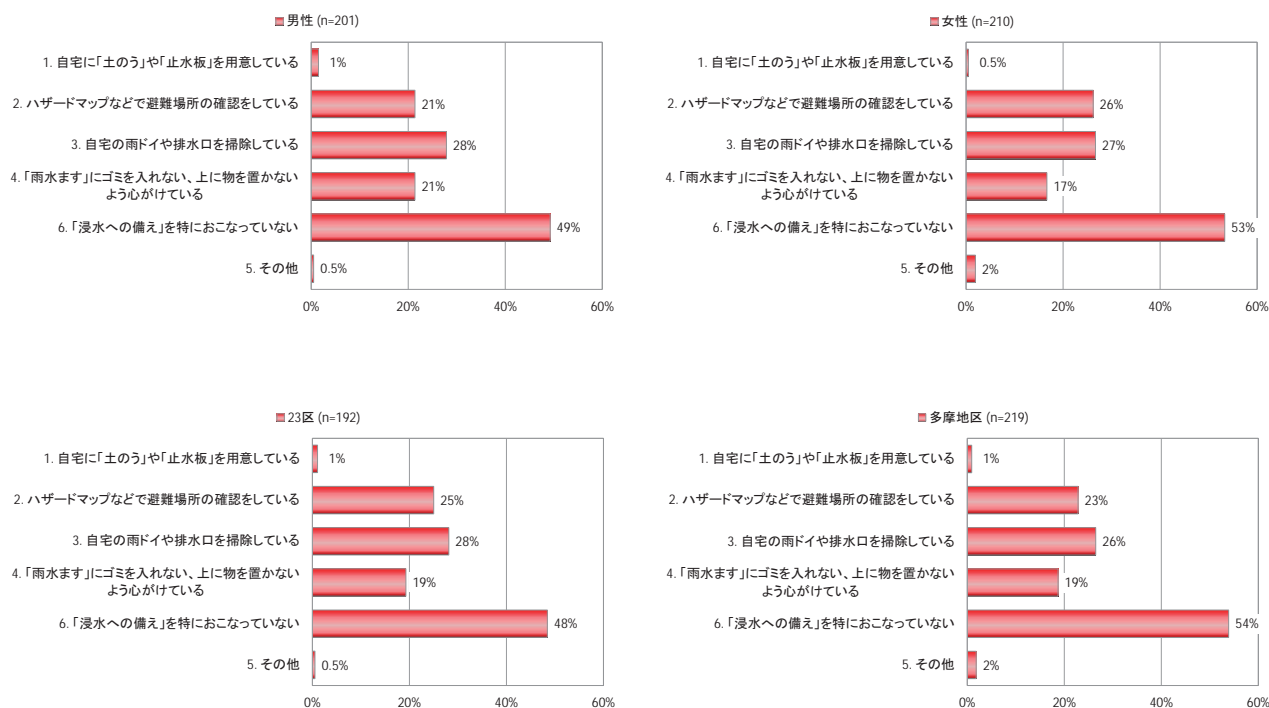
2-6. ご家庭での浸水対策について〔性別・地域別〕

- ◆ 家庭での浸水対策について性別でみると、「2.ハザードマップなどで避難場所の確認をしている」は男性が21%、女性が26%と女性の方が5ポイント高く、「4.「雨水ます」にゴミを入れない、上に物を置かないよう心がけている」は男性が21%、女性が17%と男性の方が4ポイント高くなっている。「6.「浸水への備え」を特におこなっていない」については、男性が49%、女性が53%となっており、全体的に男性の方が行動で浸水対策を行っているという結果となっている。
- ◆ 地域別でみると、行っている浸水対策は0～2ポイントの差にとどまっており、「6.「浸水への備え」を特におこなっていない」については、23区が48%、多摩地区が54%と多摩地区の方が6ポイント高くなっている。

Q14. 次に「浸水への備え」についておうかがいします。

次の中で、あなたが日頃から行っている「浸水への備え」はありますか。以下の選択肢のうち、「1～5」については該当するものをいくつでもお答え下さい（複数回答）。「1～5」で該当するものがない場合は、「6」をお選びください。

図2-6 ご家庭での浸水対策について〔性別・地域別〕



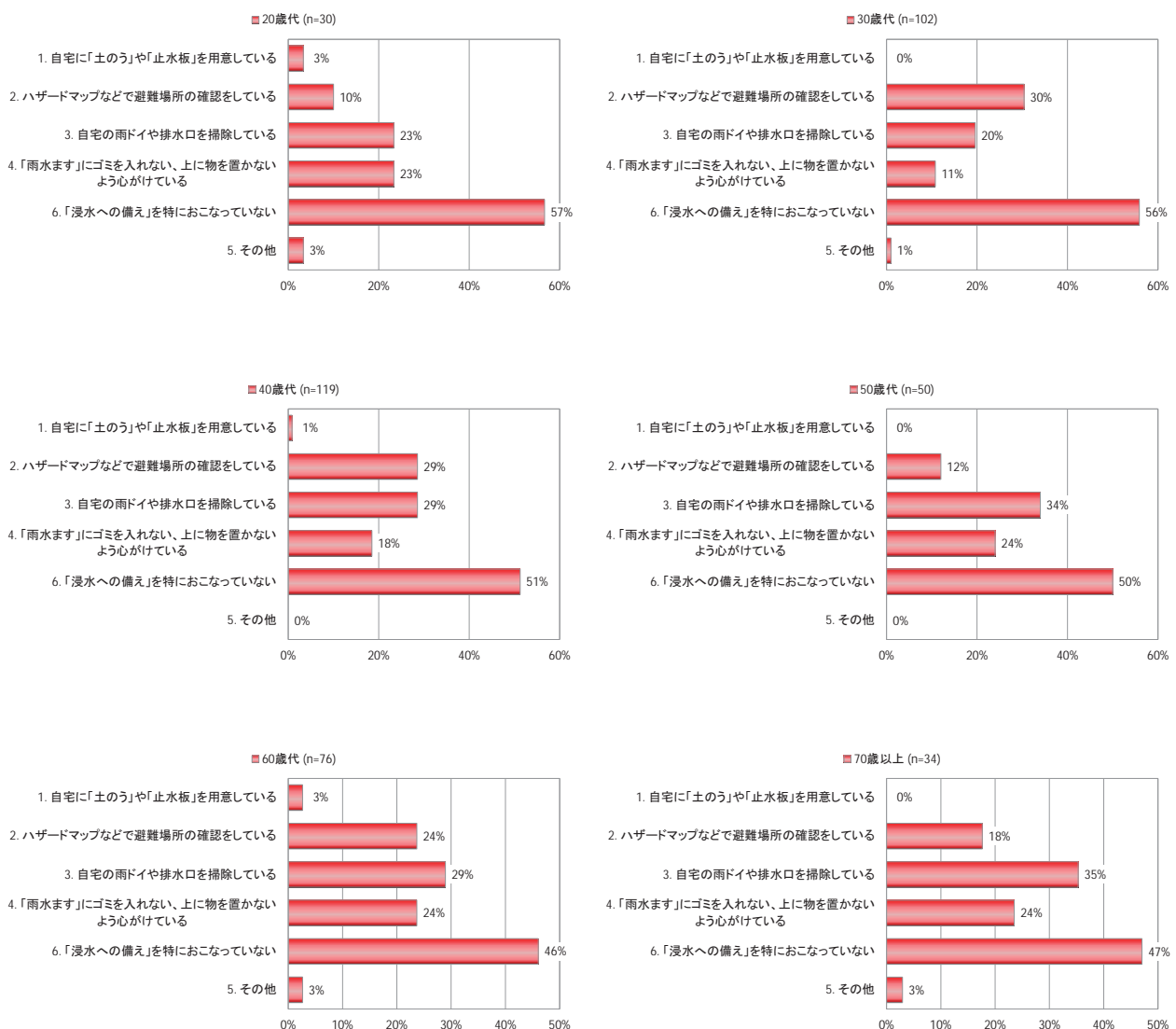
2-7. ご家庭での浸水対策について〔年代別〕

- ◆ 家庭での浸水対策について年齢別でみると、全体で最も高い「3.自宅の雨ドイや排水口を掃除している」については、30歳代と50歳代を除いて、年齢が高くなるほど実施割合も高くなる傾向がみえ、最も高い70歳以上は35%、最も低いのは30歳代で20%である。
- ◆ 全体で2番目に高い「2.ハザードマップなどで避難場所の確認をしている」については、30歳代が最も高く30%となっている。

Q14. 次に「浸水への備え」についておうかがいします。

次の中で、あなたが日頃から行っている「浸水への備え」はありますか。以下の選択肢のうち、「1～5」については該当するものをいくつでもお答え下さい（複数回答）。「1～5」で該当するものがない場合は、「6」をお選びください。

図2-6 ご家庭での浸水対策について〔年代別〕

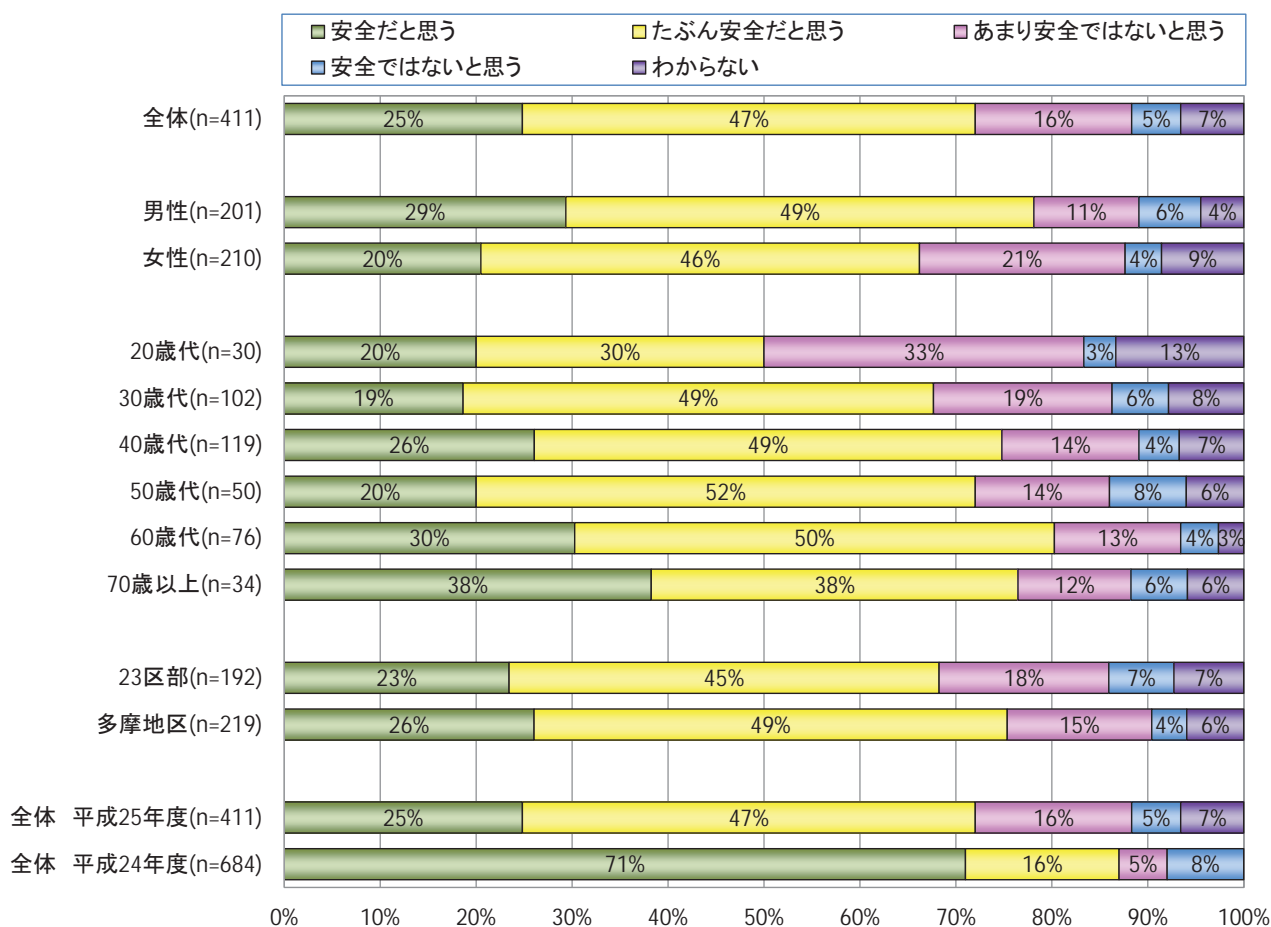


2-8. ご家庭での浸水対策の安全性

- ◆ 家庭での浸水対策の安全性について意見を聞いたところ、安全だと思う（安全だと思う+たぶん安全だと思う）が72%となっている。
- ◆ 性別でみると、安全だと思う（安全だと思う+たぶん安全だと思う）は、男性が78%、女性が66%と、男性の方が12ポイント高くなっている。
- ◆ 年代別でみると、50歳代と70歳以上を除いて、年齢が高くなるほど安全だと思う（安全だと思う+たぶん安全だと思う）が高くなる傾向にあり、20歳代が50%に対して、60歳代が80%であった。
- ◆ 地域別でみると、安全だと思う（安全だと思う+たぶん安全だと思う）は、23区が68%、多摩地区が75%と多摩地区の方が7ポイント高くなっている。
- ◆ 平成24年度調査と比較して、安全だと思う（安全だと思う+たぶん安全だと思う）については87%から15ポイントも低い結果となった。

Q15-1. あなたのお宅は、大雨による浸水に対して安全だと思いますか。以下の選択肢の中から、該当するものを一つだけお選びください。（単一回答）

図2-7 ご家庭での浸水対策の安全性

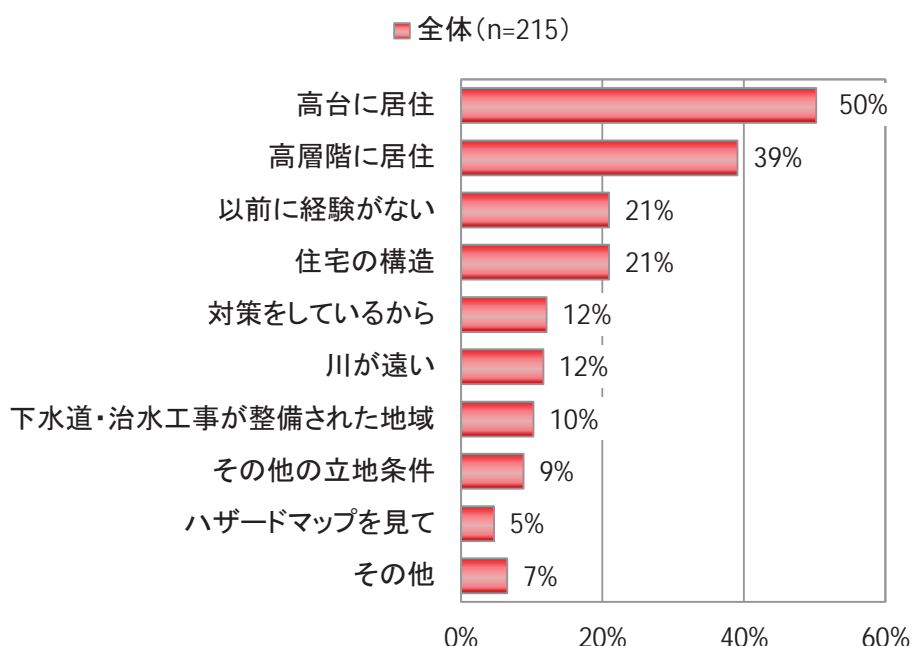


2-9. ご家庭での浸水対策の安全性に対する理由

- ◆ 「安全だと思う」「たぶん安全だと思う」と回答した理由については、「高台に居住」が50%と最も高く、次いで「高層階に居住」が39%であった。
- ◆ 「あまり安全ではないと思う」「安全ではないと思う」と回答した理由については、「川が近い」が48%と最も高かった。
- ◆ 以下に、「浸水対策の安全性」への回答の理由について、一部紹介する。

Q15-2. 上記Q15-1で、大雨による浸水に対する安全について、あなたがそのようにお答えになった理由を教えてください（自由回答）。

図2-7-1 ご家庭での浸水対策の安全性に対する理由
（安全だと思う、たぶん安全だと思う）



1. 高台に居住

- 道路から1-2メートル高くなっている高台なので、浸水については安心と考えている。（70歳以上男性、23区）
- 周辺よりも高い海拔に位置している。（40歳代女性、23区）
- 自宅は多摩川の河岸段丘の中位にあり、雨水は相当程度降ってもここまで浸水することはないと思うから。（40歳代男性、多摩地区）
- 平地で、高台に家が建っているので、浸水は大丈夫ではないかと感じている。（60歳代女性、多摩地区）

2. 高層階に居住

- 高層階に住んでいるため。（50歳代男性、23区）
- マンションの6Fなので、浸水の間接的被害の可能性はあるが（水道水、下水の排水等）、浸水があるとしたら被害というより大震災でしかあり得ないと思うので。（40歳代女性、23区）
- マンションの2階に住んでおりまさかその高さまで水が浸透するとは大抵思えないから。（40歳代男性、多摩地区）
- 今住んでいるのがマンションの4階なので下からの浸水はないと思うから。屋根からの浸水も大丈夫だと思う。（30歳代女性、多摩地区）

3. 以前に経験がない

- これまで集中豪雨などあった際に、特に問題にならなかったため。いまもそうだろうと思っているので。（40歳代男性、23区）
- 過去に浸水の被害がないから。（50歳代女性、23区）
- 今の家に住んでから、10年以上が過ぎましたが大雨で危険と感じたことがないからです。（40歳代男性、多摩地区）
- まわりで浸水になったことがないため。体が浸かるほどの災害になったことがない地域のため。（20歳代女性、多摩地区）

4. 住宅の構造

- 一戸建ての家を約8年ほど前に購入した。それだけ新しい家ならば、浸水安全対策は万全かと思うので…。（40歳男性、23区）
- 昔大雨で荒川が氾濫したことがあり、増築する際盛土して道路より高くし、車庫には傾斜をつけています。（50歳女性、23区）
- 建てて間もない家であるから。（40歳代男性、多摩地区）
- マンションでありますので戸建てよりは安全ではないかと思っています。（30歳代女性、多摩地区）

5. 対策をしているから

- 下水道に入る前の道路の側溝の掃除がされているので、下水道がごみ等で詰まってあふれることはないと思う。（50歳代男性、23区）
- マンション等の管理で、雨どいや側溝等の清掃を定期的に行っている。（40歳代女性、23区）
- 東京都がしっかり取り組んでいると聞いたことがあるので。（50歳代男性、多摩地区）
- 色々とネットで調べたりして対策しているので。（20歳代女性、多摩地区）

6. 川が遠い

- 標高が高いし、河川から遠いから。また、過去に浸水被害がでていないから。（40歳代男性、23区）
- 居住している近隣に河川がなく、比較的高台にあるという地形的に優位な点と過去10年間、大雨でも道路が冠水したことがないという経験から、安全だと考えました。（50歳代女性、23区）
- 河川から距離があり、過去にここまで浸水したことがないので。（60歳代男性、多摩地区）
- 近くに、海や大きな川がない。大雨時、浸水注意などの看板も近くにないので。（40歳代女性、多摩地区）

7. 下水道・治水工事が整備された地域

- 下水道が整備される前（40年位前）は台風など大雨になるとドブなどの水があふれ毎年のように床上浸水が起っていたが、その後は全くそのようなことがなくなったので。（60歳代男性、23区）
- 今は浮間に水再生センターができたので、安全だと思っています。（50歳代女性、23区）
- 下水道が頑丈にできていると思っています。（70歳以上男性、多摩地区）
- 最近、共通の下水設備の工事が終わったから。（50歳代男性、多摩地区）

8. その他の立地条件

- 自宅は地形的に、高台にあり、又、埋立地でもないから。（70歳以上男性、23区）
- 多摩丘陵のニュータウンなので、排水は大変良い状態だから。また、がけ崩れや土砂災害等も、地形上あまり心配でないから。（60歳代女性、多摩地区）
- 地盤が強固で、雨水の排水がスムーズにいらっている。（70歳以上男性、多摩地区）
- 家のまわりには畑もたくさんあり、大雨のときでも水はけもよく特に心配はしていないから。（30歳代女性、多摩地区）

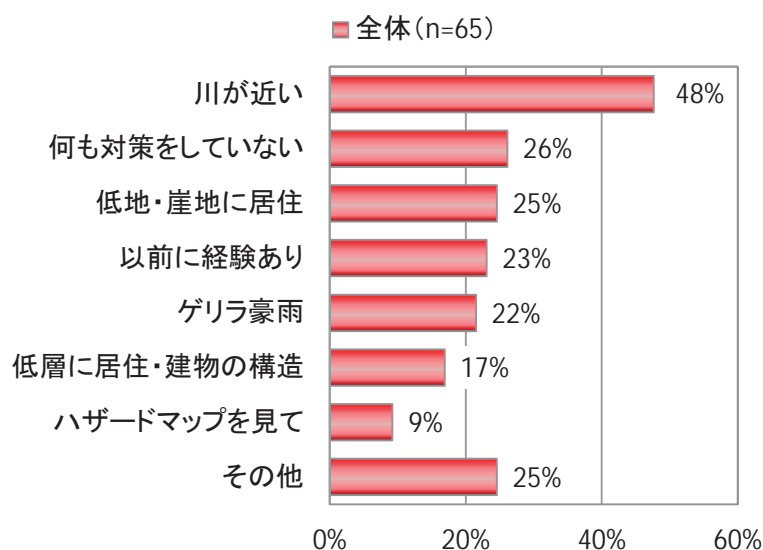
9. ハザードマップを見て

- 浸水の危険性についてハザードマップで確認したので。（60歳代男性、23区）
- ハザードマップで確認し、浸水エリアでもないから。（40歳代女性、多摩地区）
- 市からのハザードマップを参考にしているため。（30歳代男性、多摩地区）
- すぐ傍に野川が流れているため、ハザードマップは確認し、大雨浸水の可能性についても確認しているため。（50歳代女性、多摩地区）

10. その他

- 不動産屋さんと近所の人が言っていたので。（40歳代女性、多摩地区）
- 今の家に引っ越す時にその点は自分なりに調べてみたので。（40歳代女性、多摩地区）

図2-7-2 ご家庭での浸水対策の安全性に対する理由
(あまり安全ではないと思う、安全ではないと思う)



1. 川が近い

- 現在住んでいる地域が荒川、中川、江戸川に挟まれていて、海拔が2mで基本的に危険地区であることを認識している。(60歳代男性、23区)
- 近くに川が流れているので、決壊したらどうなるのか？少し不安があります。(40歳代女性、23区)
- 2階に居住しているため、私の家は浸水の可能性は少ないが、多摩川や中小河川がすぐそばにあり、豪雨のたびに氾濫の危険性を感じているから。(30歳代男性、多摩地区)
- 自宅が川に面している。(50歳代女性、多摩地区)

2. 何も対策をしていない

- 土のうなどの準備をしていないことや、ハザードマップの確認をしていないため。(40歳代女性、23区)
- 意識したことがなかった為、何の対策もしていない状況から。(30歳代女性、23区)
- 住宅地の特徴を理解していても、「自分の地域は大丈夫」という先入観が強すぎて浸水に対する対策に至っていない。(20歳代男性、多摩地区)
- 具体的な対策方法を自宅にしたことがないのと、適切なやり方が分からないので。(20歳代女性、多摩地区)

3. 低地・崖地に居住

- 高低差のある地形の先で低地部分に位置しているので、大雨では物置に雨水が流入しないかといつも気にしています。(70歳以上、23区)
- 高層マンションの高層階に住んでいるが、湾岸地区で埋立地だから。(30歳代女性、23区)
- 少し強い雨が降ると自宅前の道路が冠水に近い状態になるため。(30歳代男性、多摩地区)
- 江東区は0メートル地帯で浸水しやすいと思っているから。(40歳代女性、23区)

4. 以前に経験あり

- 現在雨戸井から処理され下水に流れる下水管が細く大雨の時はあふれ出る。（60歳代男性、23区）
- 大雨の日にベランダで水があふれたことがあるから。（60歳代女性、23区）
- 以前、大雨の時に家の周りが浸水したので。（40歳男性、多摩地区）
- 玄関前の道路が、大雨だと道いっばいに水溜りになっているから。（30歳代女性、多摩地区）

5. ゲリラ豪雨

- ゲリラ豪雨のような局地的な大雨が増えているので今後は降水量が想定を超えるのではないかなと思うから。（30歳代男性、23区）
- タ立など、短時間で大量の雨が降る時、近所の家は急いで土嚢を積んでいるのを見かけたから。（30歳代男性、23区）
- 今のところは大丈夫だが今後的大雨があると心配だ。（70歳以上男性、多摩地区）
- 多摩川の近くに住んでいるので、大雨が降ると若干不安があります。昔に比べ整備が整っていると解ってはいますが、未曾有の水害が、ないとは限らないので。（40歳代女性、多摩地区）

6. 低層に居住・建物の構造

- 周囲の地表はほぼ全面コンクリートで覆われており、住居（マンション）の排水ますが多少の雨水で頻繁に満杯になるため。（50歳代男性、23区）
- 建物が古く、水の浸入を防ぐような設備がないから。（20歳代女性、23区）
- 家に地下室があることが心配の理由。（50歳代男性、多摩地区）
- 水辺がなくあまり考えていないが、木造なので安全ではないと思う。（30歳代女性、多摩地区）

7. ハザードマップを見て

- 東京都のハザードマップで浸水の可能性がある地域である為。（40歳代男性、23区）
- 河川が近く、ハザードマップでも荒川氾濫後1時間以内に床上浸水する地区だから。（30歳代男性、23区）
- ハザードマップでも安心できる場所ではないし、地名に水関係の言葉が入っているため地盤も弱いと考えています。都心のため土も少ないですし、ものすごい雨が降ってしまったら浸水してしまうかもしれません。（20歳代女性、23区）
- ハザードマップで見ても浸水予想の上位にあるため。（30歳代女性、多摩地区）

8. その他

- 歩道のゴミや自転車等によって排水が上手くされないのではないかと考えます（40歳代男性、23区）
- 側溝を掃除しているが、大雨の際に側溝のキャパシティを越えると思う。側溝が小さすぎる。（20歳代女性、多摩地区）
- 排水溝に落ち葉がたまっている。掃除したいが排水溝の蓋の開け方が分からず、手を加えてないため。（40歳代女性、多摩地区）

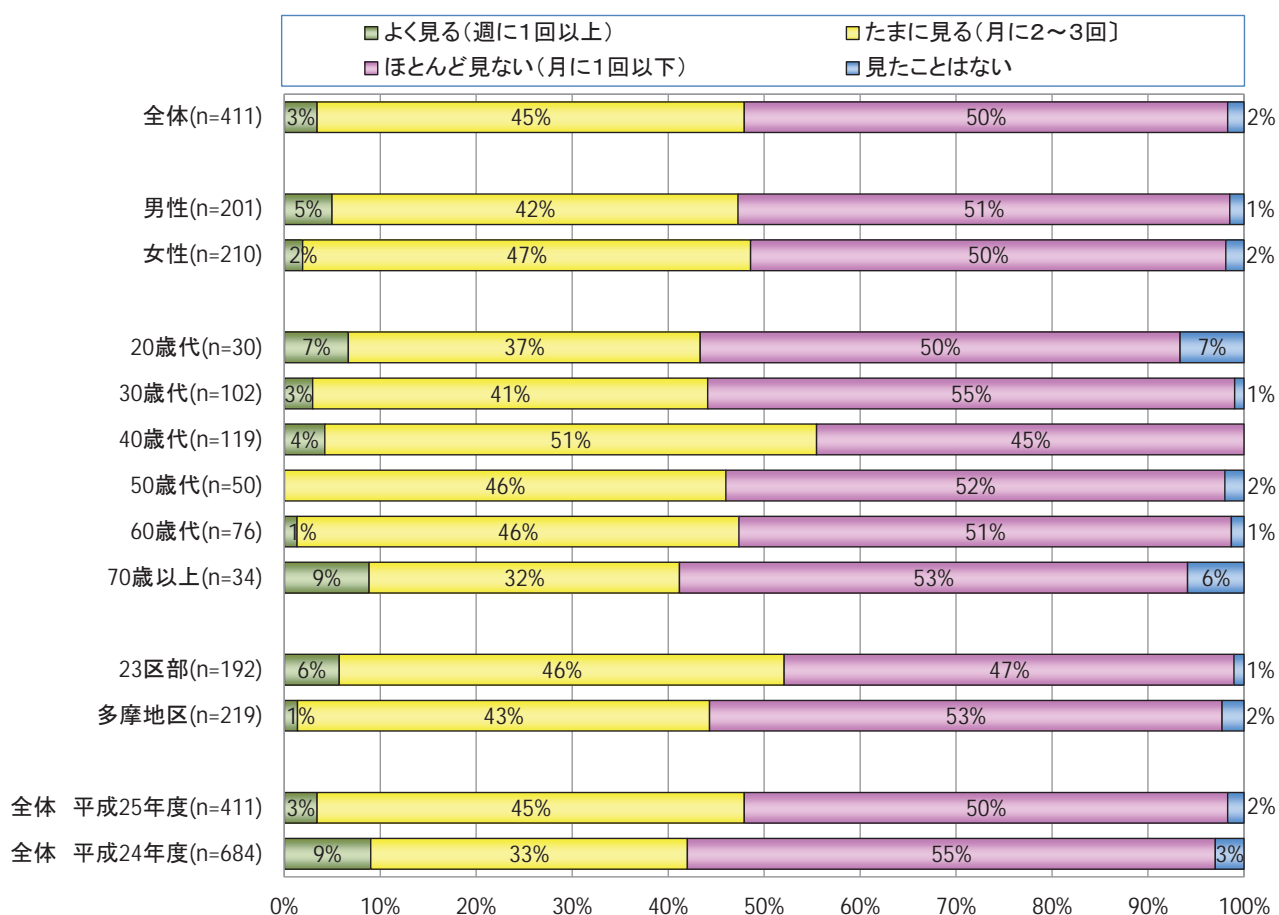
3. 東京都下水道局のホームページ

3-1. 東京都下水道局のホームページを見る頻度

- ◆ 東京都下水道局のホームページを見る頻度については、「1.よく見る」が3%、「2.たまに見る」が45%、「3.ほとんど見ない」が50%であった。
- ◆ 性別でみると、「1.よく見る」は、男性が5%、女性が2%と男性の方が3ポイント高く、「2.たまに見る」を加えると男性が47%、女性が49%と女性の方が2ポイント高くなった。
- ◆ 年代別でみると、「1.よく見る」について最も高いのは、70歳以上が9%、次いで20歳代が7%、40歳代が4%となっており、「2.たまに見る」を加えると、40歳代が55%と最も高い結果となっている。
- ◆ 地域別でみると、「1.よく見る」は、23区が6%、多摩地区が1%、「2.たまに見る」を加えると、23区が52%、多摩地区が44%である。
- ◆ 平成24年度調査と比較すると、「1.よく見る」が9%から6ポイント低くなり、「2.たまに見る」を加えると42%から6ポイント高くなった。

Q16. あなたは、東京都下水道局のホームページをどの程度の頻度でご覧になりますか。選択肢の中から、該当するものを一つだけお選びください。

図3-1 「東京都下水道局ホームページ」を見る頻度



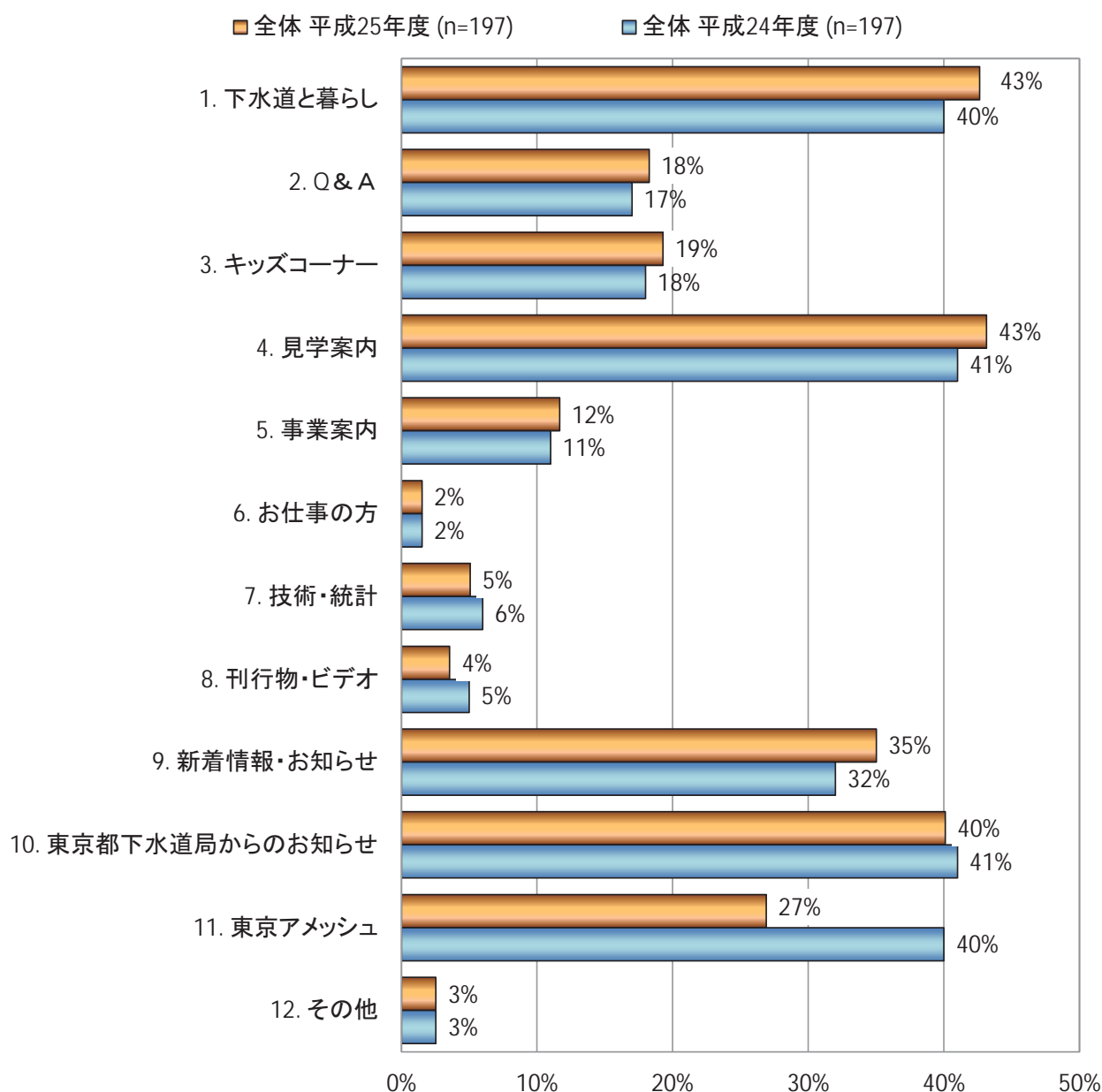
3-2. 東京都下水道局のホームページで見る記事〔全体〕

- ◆ 東京都下水道局のホームページを月に2～3回以上見る方のよく見る記事について、「1.下水道と暮らし」と「4.見学案内」が同じく43%と最も高く、次いで「10.東京都下水道局からのお知らせ」が40%、「9.新着情報・お知らせ」が35%となっている。
- ◆ 平成24年度調査と比較すると、「11.東京アメッシュ」が40%から13ポイント低くなっている。他の選択肢は特に大きな変化は見られない。

Q17. 上記Q16で、「1～2」を選択した人におたずねします。

あなたが、東京都下水道局のホームページでよくご覧になる記事はどれでしょうか。以下の選択肢の中から、該当するものをいくつでもお答え下さい（複数回答）。

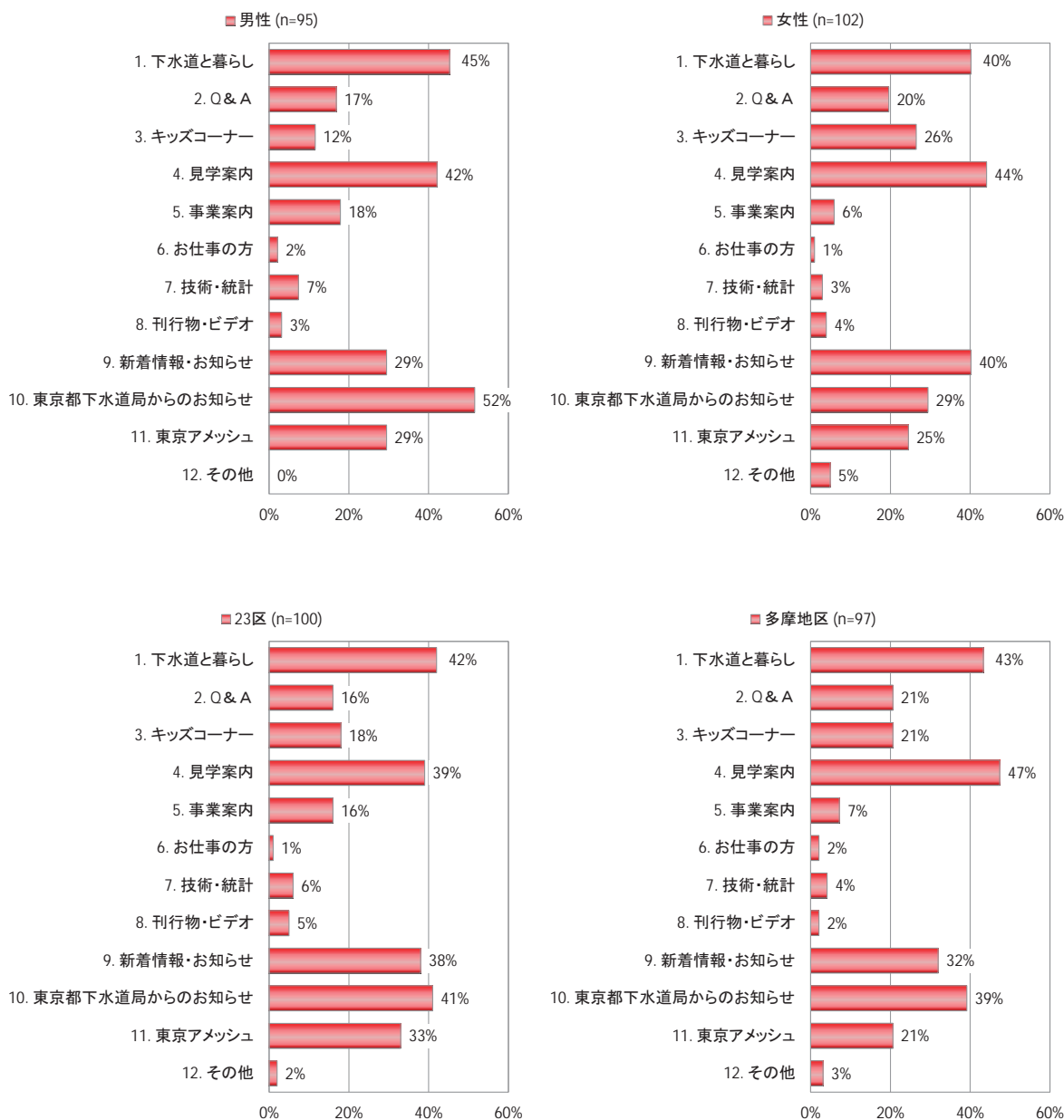
図3-2 「東京都下水道局ホームページ」で見る記事〔全体〕



3-3. 東京都下水道局のホームページで見る記事〔性別・地域別〕

- ◆ 性別でみると、「1.下水道と暮らし」は、男性が45%、女性が40%と男性の方が5ポイント高く、「10.東京都下水道局からのお知らせ」は、男性が52%、女性が29%と男性の方が23ポイント高くなっているに対し、「2.Q&A」は、男性が17%、女性が20%と女性の方が3ポイント高く、「3.キッズコーナー」は、男性が12%、女性が26%と女性の方が14ポイント高く、「9.新着情報・お知らせ」は、男性が29%、女性が40%と女性の方が21ポイント高くなっている。
- ◆ 地域別でみると、「9.新着情報・お知らせ」は、23区が38%、多摩地区が32%、「11.東京アメッシュ」は、23区が33%、多摩地区が21%と、23区の方がそれぞれ6ポイント、12ポイント高いのに対して、「2.Q&A」は、23区が16%、多摩地区が21%、「4.見学案内」は、23区が39%、多摩地区が47%と多摩地区の方がそれぞれ5ポイント、8ポイント高くなっている。

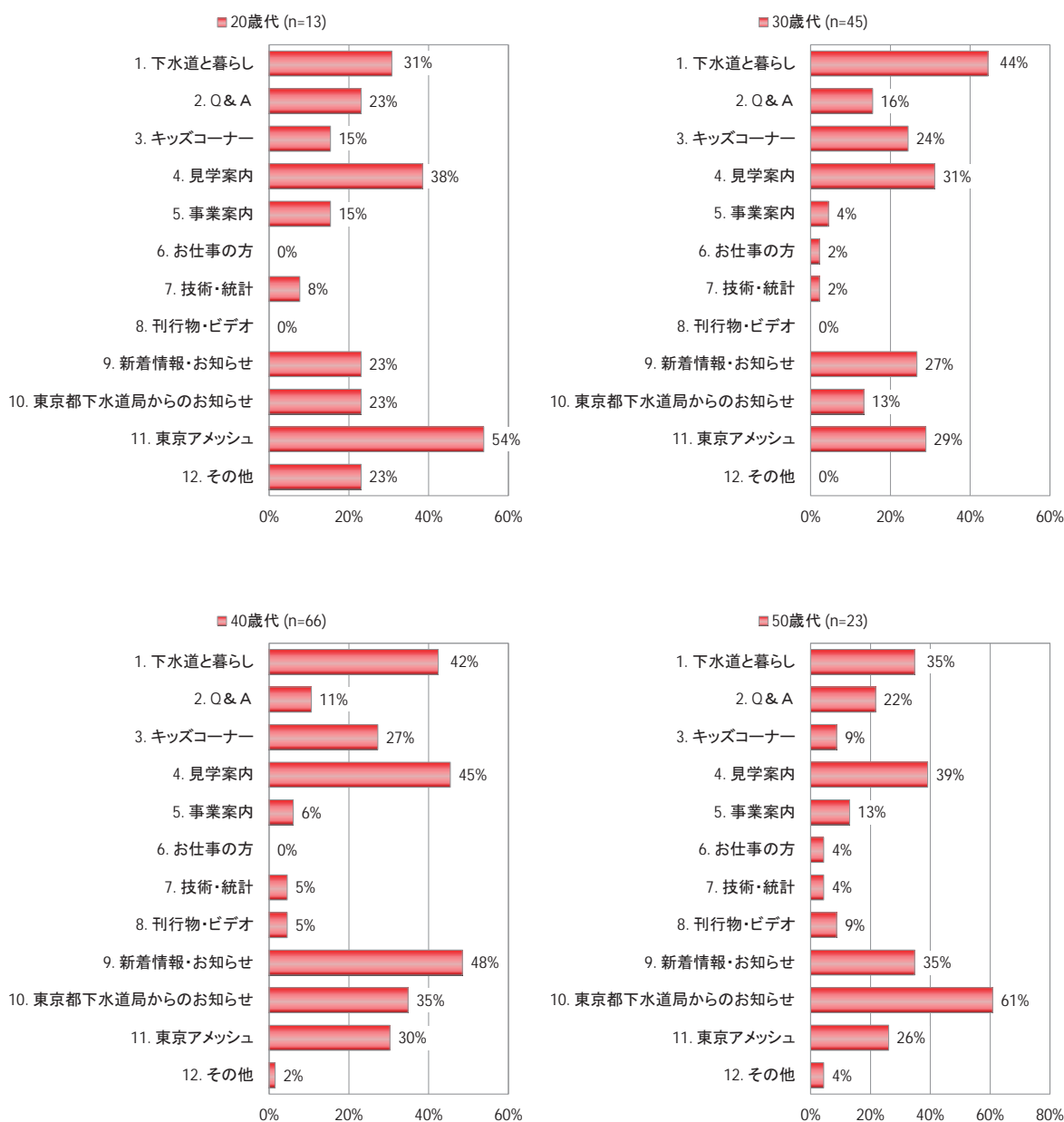
図3-3「東京都下水道局ホームページ」で見る記事〔性別・地域別〕

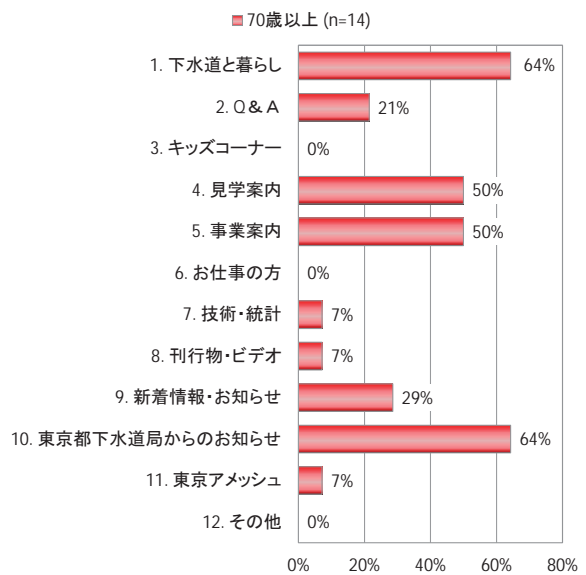
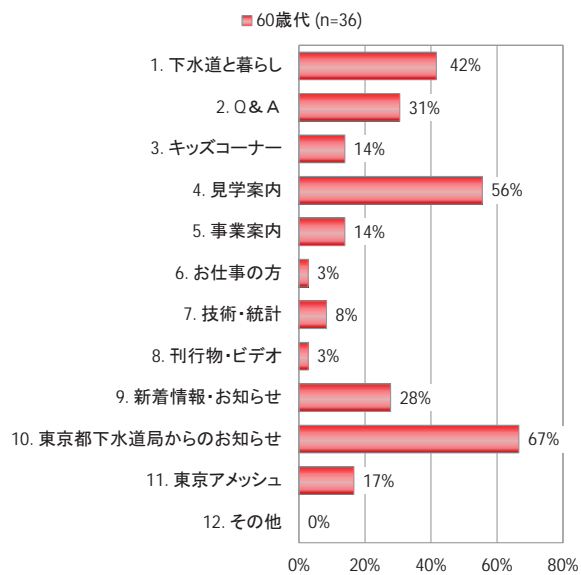


3-4. 東京都下水道局のホームページで見る記事〔年代別〕

- ◆ 年代別でみると、最もよく見る記事としては、20 歳代は「11.東京アメッシュ」で 54%、30 歳代は「1.下水道と暮らし」で 44%、40 歳代は「9.新着情報・お知らせ」で 48%、50 歳代と 60 歳代は「10.東京都下水道局からのお知らせ」がそれぞれ 61%、67%、70 歳以上は「1.下水道と暮らし」と「10.東京都下水道局からのお知らせ」が同じく 64%となっている。70 歳以上は、「4.見学案内」、「5.事業案内」についてもニーズが高い。

図 3-4 「東京都下水道局ホームページ」で見る記事〔年代別〕





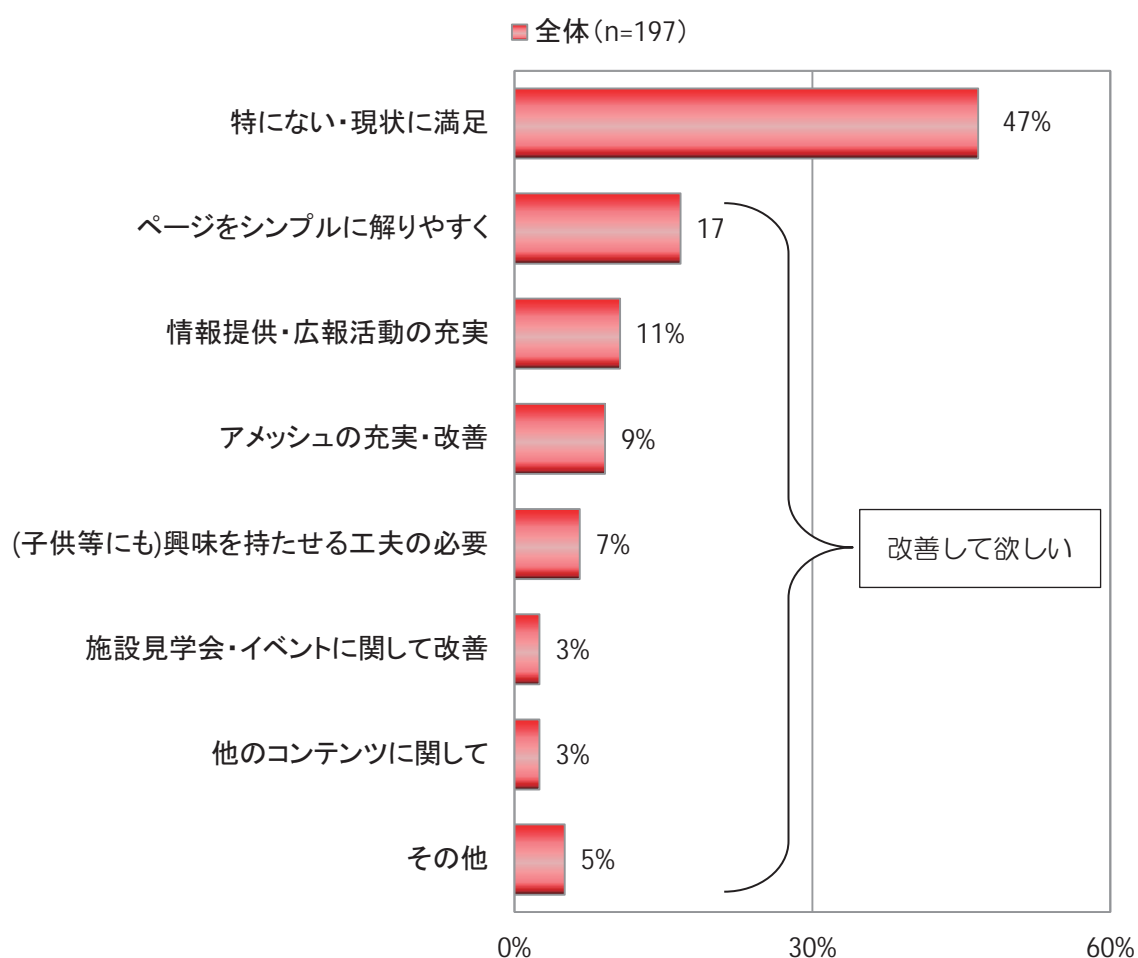
3-5. 東京都下水道局のホームページへの改善案

- ◆ 「東京都下水道局ホームページ」については、「特にない・現状に満足」が47%と半数近くになっており、改善して欲しいところでは、「ページをシンプルに解りやすく」が17%、と最も高く、次いで「情報提供・広報活動の充実」が11%、「アメッシュの充実・改善」が9%という結果になった。
- ◆ 以下に、「東京都下水道局ホームページ」について、多数お寄せいただいたので、一部紹介する。

Q18. 上記Q16で、「1～2」を選択した人におたずねします。

あなたが、東京都下水道局のホームページで「こんなことができたらいい」と思うことや、「ここが使いづらい、見づらい」など、お気づきの点があれば、お知らせください（自由回答）。

図3-3 「東京都下水道局ホームページ」への意見



【改善して欲しい】

1. ページをシンプルに解りやすく

- 全体的には問題ないと思うが、東京都水道局のホームページに比べると、メインのページが若干ごちゃごちゃした感じがする。（40歳代男性、23区）
- もっと、簡単にわかりやすくしてほしい。字が小さくて読み難いところがある。字を大きくしてほしい。（60歳代女性、23区）
- トップページに下水道に関してこれだけは注意してほしいということを、分かりやすく表示しておくといいかもしれません。〇〇しないで！とか、〇〇注意！など。（40歳代男性、多摩地区）
- しいていえば、PDFファイルが重すぎるくらいでしょうか。 所有のパソコンがメモリが頼りない事が原因ではありますが。（40歳代女性、多摩地区）

2. 情報提供・広報活動の充実

- 練馬区内でマンホールトイレが設置可能なマンホールがどこにあるのかを知っておきたいのですが、これは可能でしょうか。（60歳代男性、23区）
- 放射能に関しては、最新の情報をお願いします。（40歳代女性、23区）
- もっと広報活動を積極的に展開すべきだ。ドアを開けて入ってくれるのを待つのでなく、こちらからドアを開けるくらいの気構えが必要だ。（60歳代男性、多摩地区）
- 我が家の水道料金の管理ができればいいと思います。過去の使用量、料金を調べたり、比較ができれば、家計のチェックができそうです。（30歳代女性、23区）

3. アメッシュの充実・改善

- 東京アメッシュが、最近正確さを失ってきた。以前はかなり信頼していたが。（30歳代男性、23区）
- 東京アメッシュは毎日見えています。東京だけでなく周りの地域（西側や利根川の上流の方）も確認できると天気の様子がもっと把握しやすいと思います。（40歳代女性、23区）
- 東京アメッシュはよく見るが未来の予測図も入れてほしい。（40歳男性、多摩地区）
- アメッシュは、かなり頻繁に見ており、携帯でも見ている。もう少し、ピンポイントで見れたら最高です。（50歳代女性、多摩地区）

4. （子供等にも）興味を持たせる工夫の必要

- 特にありませんが、もっと、写真や絵が、説明文に加えてあると良いと思います。（40歳代女性、23区）
- 特に今のままでよいのですが、子供が興味を持てるかわいらしい雰囲気にするのも良いのかもしれない。（30歳代女性、23区）
- 全体に固い感じがする。子供の啓発も大切だと思うので、普段の教材に使えたり、夏休みの自由研究に使えたりできるよう、解りやすい表現、イラストがあればいいと思う。（60歳代女性、多摩地区）
- トップページに「新着情報・お知らせ」と「お願い」の小さい字がたくさん出てきて、取っつきにくい印象があります。キッズコーナーの文章の漢字にかっこで読みのひらがなを書いているのが見にくいです。子どもに読ませたいので、微生物が水をきれいにする過程をマンガにしてほしいです。ダイエットレシビは簡単に作れるメニューが多くてヘルシーで、参考になります。（40歳代女性、多摩地区）

5. 施設見学会・イベントに関して改善

- 施設見学を年度予定表に掲載してくれたらありがたいです。（60歳代男性、多摩地区）
- 下水道施設見学の予約。（30歳代女性、多摩地区）

- もっと参加型イベントや施設の見学会があるとうれしいです。（30 歳代女性、23 区）
- 虹の下水道館で平日、大人（主婦）向けの水と関わりのセミナーを行っては、いかがでしょうか？（40 歳代女性、23区）

6. 他のコンテンツに関して

- もっとレシピなど、生活に関係する内容を増やすといいと思う。（40歳代男性、23区）
- 特にはありません。料理レシピのページがわかりやすいリンクになっていたら、なおい、と感じるくらいです。（30歳代女性、23区）
- ダイエットレシピがとても参考になっております。改善点は、もう少しコンテンツを減らしすっきり読みやすいと思います。（50歳代女性、多摩地区）
- モニターに入るのを簡単にできたらいい。クイズ形式のページは毎月1位で作りプレゼントがもらえるといい。（50歳代女性、多摩地区）

7. その他

- 1）下水道の蓋のデザインが何種類ありますが、その紹介は勿論ですが、国内でも観光地等の特色あるデザインとか海外の洒落たデザインの物とかシリーズ化して紹介していただけたらと思います。2）下水道の蓋を迷路にしてパズル化した知人もいましたが、現在の蓋のデザインをデフォルメしたグッズ等の制作もして欲しいと思います。3）蓋の新しいデザインの公募もしたらいかがでしょうか？本筋から外れてしまいましたが蓋へのこだわりがありましたもので失礼致しました。（60 歳代男性、23区）
- 取り立てて申し上げることはありませんが、我々都民の安心飲料水はじめ浸水・震災対策に取り組む下水道局の理念とも言える”最少の経費で最良のサービスを安定的に提供する”諸課題の更なる追求と実行に邁進頂きますよう、感謝とともにお願い申し上げます。（70歳以上男性、23区）
- 一ヶ月ずつテーマごとに今月は震災対策とか判りやすく説明して頂けたら良いと思います。そしてそれに対してアンケート頂ければじっくり読んで回答出来ると思います。（60歳代女性、多摩地区）
- 地域によって雨水タンクの助成金があるところや、全く無いところがありますが、全ての地域であるとうれしいです。メーターも家の中もしくはすぐに確認できるところに設置されていると（金額も見えろ）節水に役立つと思うのですが。（50歳代女性、多摩地区）

以 上